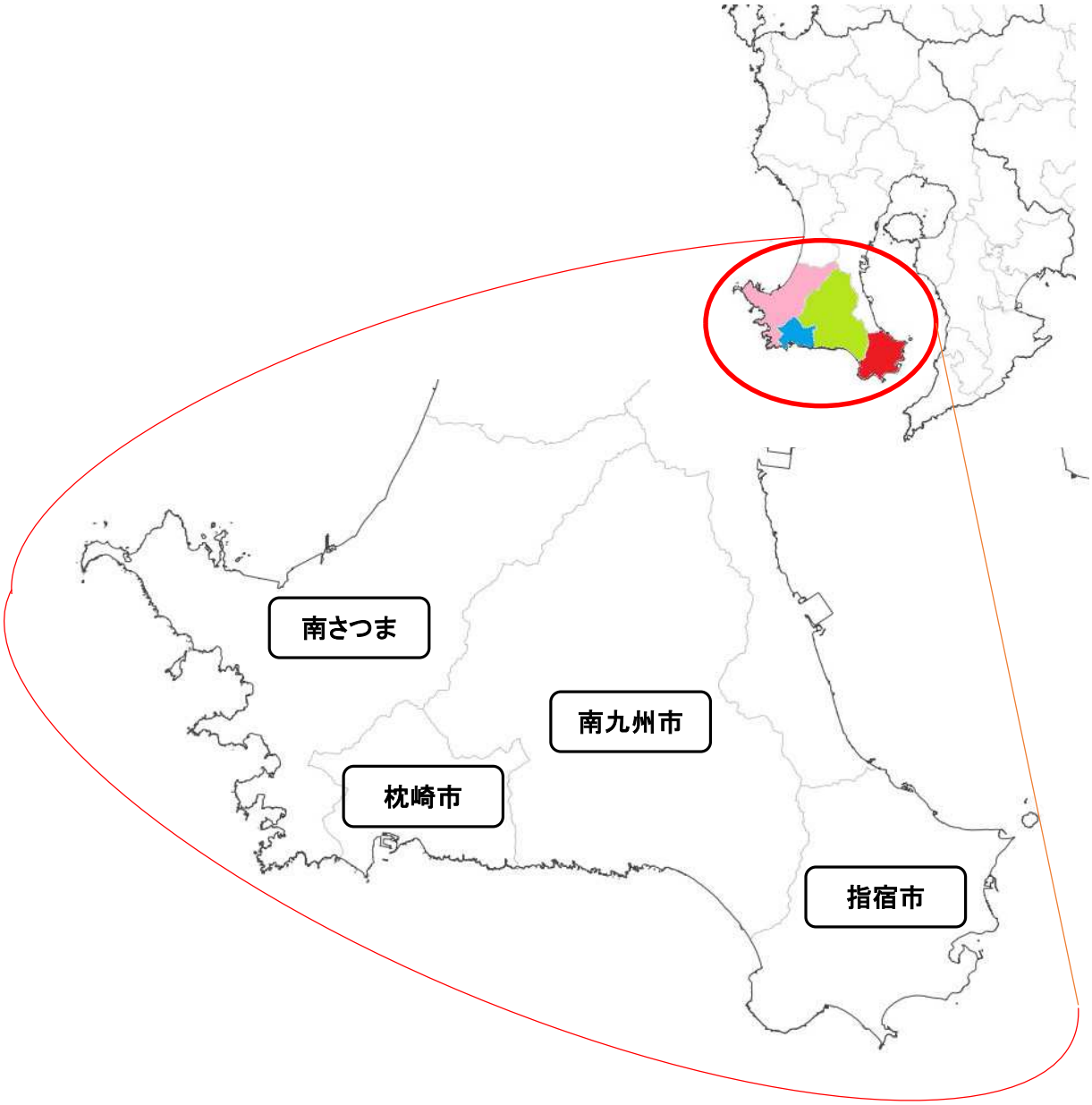
南薩地域データ集



2026年3月

鹿児島県南薩地域振興局

目　　次

１　地勢 …… 1

２　人口の動向 …… 3

３　産業経済と所得
(1)　産業別生産額 …… 5
(2)　産業別就業者数 …… 6
(3)　市町村民所得 …… 6
(4)　管内高校の進学・就職状況 …… 7

４　農林水産業
(1)　農業 …… 8
①　耕地の現況等
②　農業生産の状況
③　農業農村整備の状況
④　就農者の現況等
(2)　林業 …… 15
①　林産物の生産現況等
②　森林の現況等
③　林業就業者の現況等
④　森林土木関係
(3)　水産業 …… 18
①　水産物の生産現況等
②　水産就業者の現況等
③　市場別水揚げの状況
④　水産物の輸出の状況

５　観光
(1)　観光客動向 …… 21
①　管内入込客数の推移
②　指宿市における延べ宿泊者数の推移
(2)　教育旅行の受入状況 …… 23
(3)　スポーツキャンプ・合宿の受入状況 …… 24
(4)　主な観光スポット・イベント …… 26

６　保健医療福祉
(1)　人口動態 …… 27
(2)　医師数・医療提供施設等の状況 …… 27
(3)　生活習慣病死亡率 …… 27
(4)　福祉施設の設置状況 …… 29
(5)　温泉利用状況 …… 29
【参考】県立薩南病院の概要

７　管内の公共土木施設の概要
(1)　道路 …… 31
(2)　河川 …… 32
(3)　土石流，急傾斜地及び地すべり …… 32
(4)　海岸 …… 32
(5)　港湾・漁港 …… 33
(6)　県営住宅 …… 33

８　教育・文化
(1)　教育 …… 34
①　小中学校の状況
②　義務教育学校の状況
③　高等学校の状況
④　特別支援学校
(2)　文化 …… 34
①　伝統的工芸品
②　管内の指定文化財の状況

９　市町村勢
(1)　財政状況 …… 36
(2)　合併状況 …… 36

1　地勢

・　当地域（枕崎市，指宿市，南さつま市，南九州市）は，薩摩半島の南西部に位置し，北は日置市と鹿児島市に，東は錦江湾に，西と南は東シナ海に面している。南西端は，坊・野間の小山系と沈降地形によるリアス式海岸がみられ，背後に南薩台地の段丘が広がっている。

・　管内の面積は 86,507haで，県全体に対する構成比は 9.4%であり，耕地面積は17,020ha(耕地率19.7%)，林野面積46,700ha(林野率54.0%)である（表１）。
　南薩畑かん等により生産性の高まった地域がある一方で，シラス，コラ等の火山性不良土壌地域や中山間地域など生産性の低い耕地もある。

・　管内各市とも，県都鹿児島市から50㎞圏内に位置し，ＪＲ指宿枕崎線やバス路線で結ばれている。2017年３月には南薩縦貫道が開通し，管外からのアクセスが格段に向上している（図２）。

・　大隅半島とは，山川・根占フェリー（１日４往復８便　季節により変更あり）で，種子島･屋久島とは高速船（種子島：１日１往復２便，屋久島：１日１往復３便　季節により変更あり）で結ばれているが、2026年４月から指宿港に寄港する全ての便を休止（表２）。

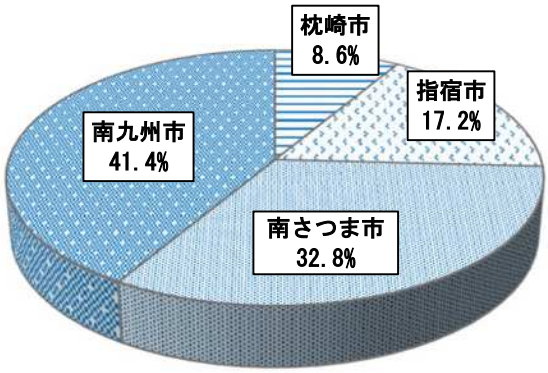
【表１】総面積・耕地面積・林野面積

区分／市名	総面積(ha)	耕地面積(ha)			耕地率	林野面積(ha)			林野率
		田	畑	計		国有	民有	計	
枕崎市	7,475	60	1,390	1,450	19.4 %	22	3,347	3,369	45.1 %
指宿市	14,882	257	3,030	3,280	22.0 %	638	5,787	6,425	43.2 %
南さつま市	28,359	1,470	2,060	3,520	12.4 %	715	17,408	18,123	63.9 %
南九州市	35,791	1,330	7,440	8,770	24.5 %	2,043	16,740	18,783	52.5 %
管内	86,507 (9.4%)	3,117	13,920	17,020 (15.4%)	19.7 %	3,418	43,282	46,700 (7.9%)	54.0 %
県計	918,620	33,500	76,900	110,400	12.0 %	150,486	438,197	588,683	64.1 %

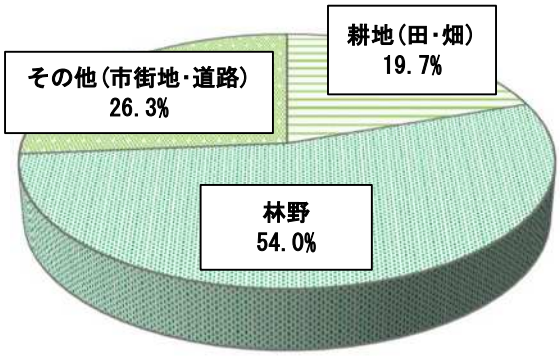
※1（　）は，県全体に対する構成比
※2 耕地面積は，ラウンドの関係で合計が一致しないことがある.

出典：　総面積：国土地理院「令和７年全国都道府県市町村別面積調（10月1日時点）」
　　耕地面積，林野面積：九州農政局「第71次九州農林水産統計年報（令和５年～６年）」

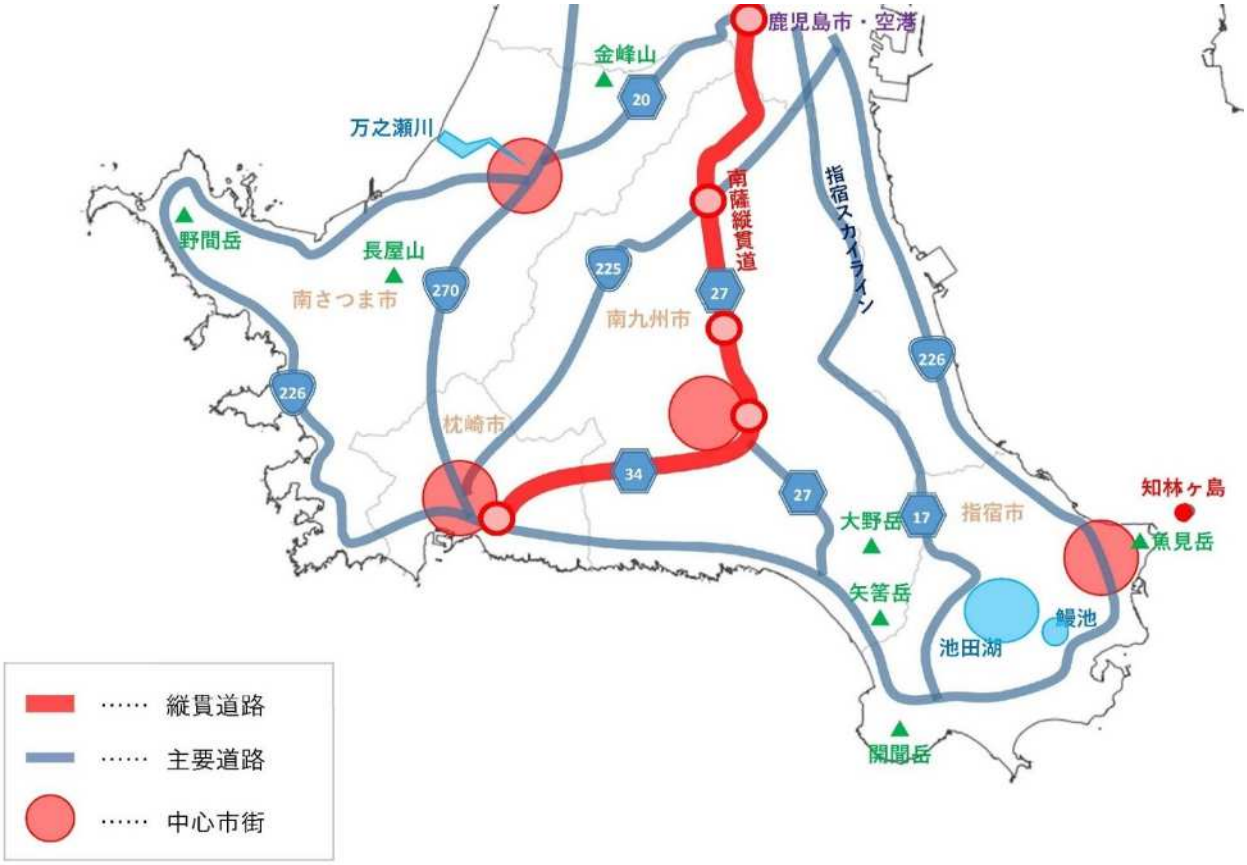
【図１】市別面積比（総面積:86,507ha）



管内の土地利用形態



【図２】南薩地域振興局 管内概要地図



【表２】南薩への移動時間

車（鹿児島市街－南薩各市街）	
枕崎市街	約１時間５分（南薩縦貫道など）
指宿市街	約１時間10分（国道226号など）
南さつま市街（加世田）	約１時間（国道225号，県道20号など）
南九州市街（知覧）	約45分（南薩縦貫道など）
ＪＲ（鹿児島中央駅－枕崎駅／指宿駅）	
枕崎駅	約２時間30分（指宿枕崎線）
指宿駅	約１時間15分（指宿枕崎線）
山川・根占フェリー	
山川港－根占港	約50分
種子島･屋久島高速船	
指宿－種子島	約１時間５分～約２時間20分
指宿－屋久島	約１時間15分～約２時間

○主な自然環境

山	指宿市	・開聞岳　924m　・魚見岳　215m
	南さつま市	・金峰山　636m　・野間岳　591m　・長屋山　513m
	南九州市	・大野岳　466m　・矢筈岳　359m
湖	指宿市	・池田湖［九州最大の湖，カルデラ湖］ 面積 10.91k㎡，直径 約3.5Km，周囲 約15Km，湖面標高 約66m， 深さ 233m（日本で４番目に深い）
河川	南九州市 南さつま市	・万之瀬川水系（23河川）　延長151km
島	指宿市	・知林ヶ島 面積 0.6k㎡，周囲 約３Km，標高 90m，砂州長（出現時）約800m ※地質学では，陸繋統（砂州によって大陸や大きな島と陸続きになった島）の一種
	南さつま市	・沖秋目島　・宇治群島　・草垣群島

２　人口の動向

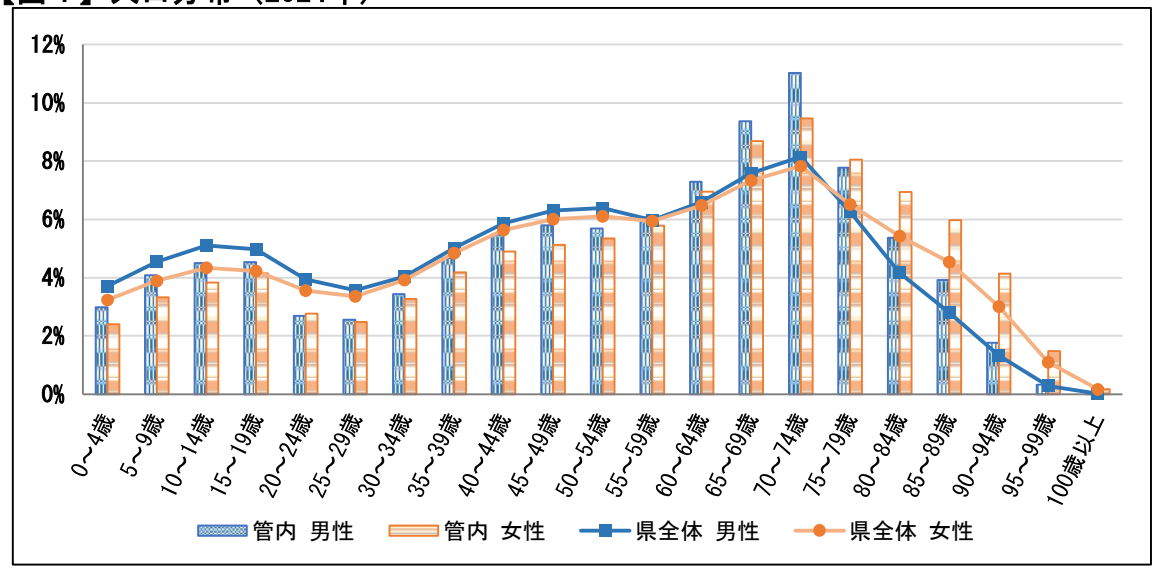
- 2024年の南薩地域の推計人口は約11万6千人であり，管内人口のピーク時であった1950年（約27.4万人）の42.2%となっている（表１）。
- 県全体に占める管内の人口の割合は，7.6%であり減少傾向にある（表１）。
- 65歳以上の高齢化率は42.4%であり，県全体の34.4%を8.0ポイント上回っており，県下の地域別で最も高い（表１・２）。
- 人口分布は，県全体と比較すると若い世代ほど総人口に占める割合が下回っている（図１）。
- 南薩地域の人口減少は今後更に進行し，2050年には約7.1万人になると推計されており，減少率は県下の地域別で最も高い（図２・表２）。
- 高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は，2050年には47.8%になると見込まれている（表２）。

【表１】人口の推移等

区分／市名	人口の推移（人）					世帯数（戸）	高齢化率（%）
	国勢調査				県統計		
	1950年（ピーク時）	2010年	2015年	2020年	2024年	2024年県統計	2024年県統計
枕崎市	34,480	23,638	22,046	20,033	18,419	9,133	43.8
指宿市	67,977	44,396	41,831	39,011	36,490	17,264	42.5
南さつま市	89,852	38,704	35,439	32,887	30,613	13,986	42.1
南九州市	82,021	39,065	36,352	33,080	30,344	14,003	42.8
管内計　A	274,330	145,803	135,668	125,011	115,866	54,386	42.4
県計　B	1,804,118	1,706,242	1,648,177	1,588,256	1,531,712	731,098	34.4
県対比A／B	15.2 %	8.5 %	8.2 %	7.9 %	7.6 %	7.4 %	―

出典：2024年の「人口の推移」及び「世帯数」，「高齢化率」は，県統計課「県人口移動調査（推計人口）」

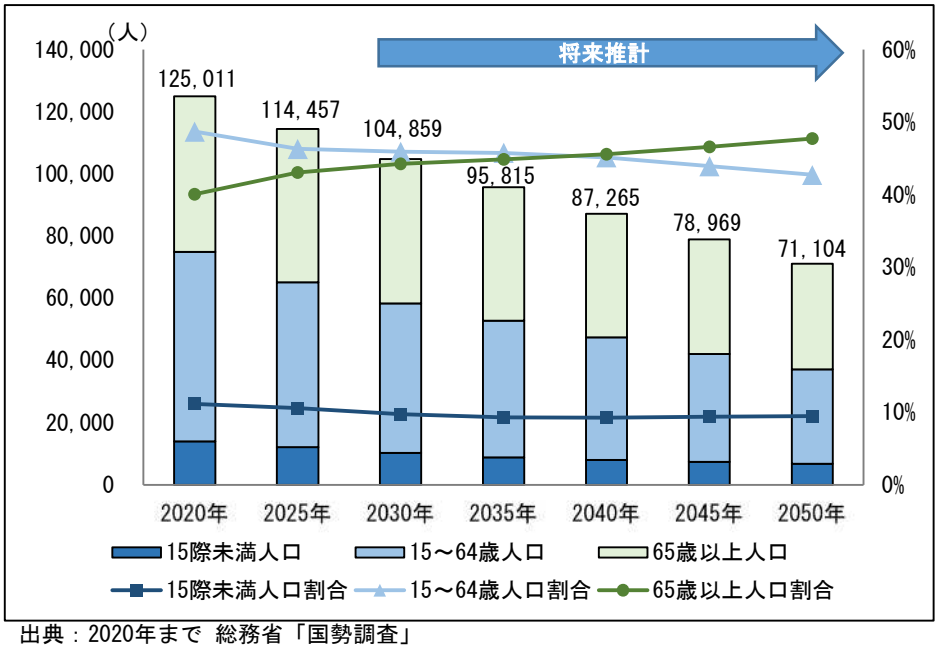
【図１】人口分布（2024年）



※　総人口に占める各年齢区分人口の割合をグラフ化したもの

出典：県統計課「県人口移動調査（推計人口）」

【図２】年齢３区分別管内人口の推移



出典：2020年まで 総務省「国勢調査」
2025年以降 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」

【表２】地域別将来推計人口・高齢化率

（単位：人，％）

	人口				高齢化率			
	2020年 国勢調査 (A)	2024年 県統計 (B)	2050年 推計 (C)	(C)／(B)	2020年 国勢調査 (D)	2024年 県統計 (E)	2050年 推計 (F)	(F)－(E)
鹿児島地域	668,916	655,722	547,827	83.5	29.2	29.4	39.1	9.7
南薩地域	125,011	115,866	71,104	61.4	40.1	42.4	47.8	5.4
北薩地域	193,615	184,644	129,979	70.4	34.8	36.0	43.2	7.2
姶良・伊佐地域	233,055	228,769	183,419	80.2	31.2	32.1	40.3	8.2
大隅地域	223,828	210,186	145,290	69.1	35.7	37.3	42.5	5.2
熊毛地域	39,550	36,910	24,450	66.2	37.5	39.6	46.8	7.2
大島地域	104,281	98,106	68,533	69.9	35.1	37.5	45.7	8.2
県計	1,588,256	1,531,712	1,170,602	76.4	32.5	34.4	41.2	6.8

出典：2020年 総務省「国勢調査」
2024年 県統計課「県人口移動調査（推計人口）」
2050年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」

３　産業経済と所得

(1)　産業別生産額

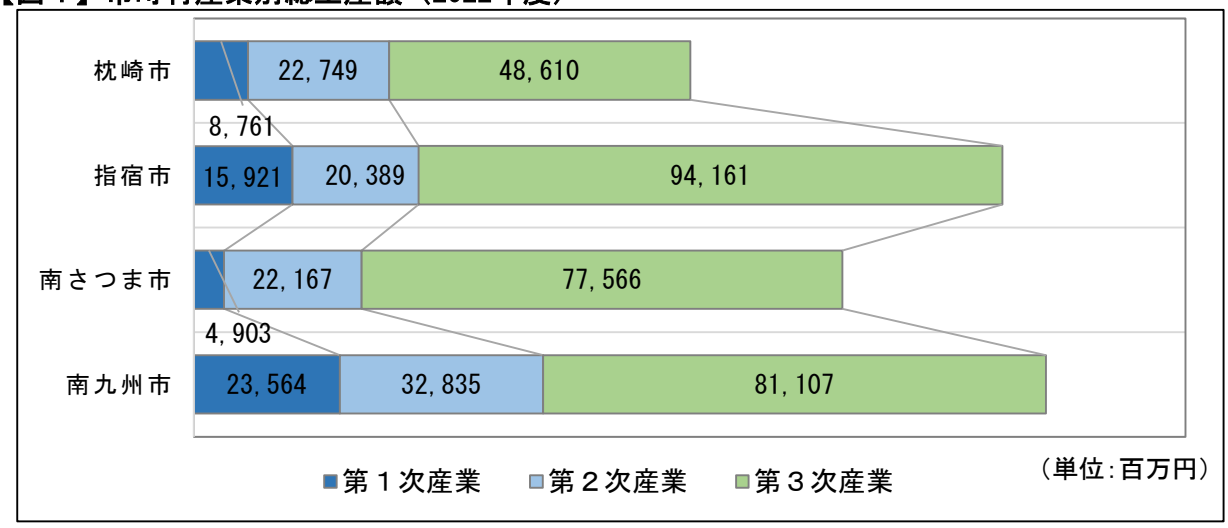
・　2022年度市町村内総生産額の管内計は，4,583億円（県全体の7.6%）である。
　産業別構成比でみると，第１次産業が11.6%(県4.8%)，第２次産業が21.4%(県23.2%)，第３次産業が65.8%(県70.8%)であり，県全体と比べ第１次産業の割合が高く，第３次産業の割合が低い（表１）。

【表１】産業別総生産額（2022年度）　　（単位：百万円）

区分 / 市名	総生産額		第１次産業		第２次産業		第３次産業	
	金　額	前年比	金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
枕　崎　市	81,107	102.1%	8,761	10.8%	22,749	28.0%	48,610	59.9%
指　宿　市	132,079	104.8%	15,921	12.1%	20,389	15.4%	94,161	71.3%
南さつま市	105,927	100.8%	4,903	4.6%	22,167	20.9%	77,566	73.2%
南九州市	139,201	100.5%	23,564	16.9%	32,835	23.6%	81,107	58.3%
管内計　①	458,314	102.0%	53,149	11.6%	98,140	21.4%	301,444	65.8%
県　計　②	6,048,596	102.1%	288,993	4.8%	1,405,449	23.2%	4,280,522	70.8%
管内割合 ①／②	7.6%	―	18.4%	―	7.0%	―	7.0%	―

出典：県統計協会「市町村民所得推計（市町村内総生産）」

【図１】市町村産業別総生産額（2022年度）



(2) 産業別就業者数

・ 管内の就業者数（15歳以上）は58,558人で，産業別構成比は第１次産業が17.3%(県8.3%)，第２次産業が18.6%(県18.8%)，第３次産業が63.3%(県71.1%)であり，県全体と比べ第１次産業の割合が高く，第３次産業の割合が低い（表２）。

【表２】産業別就業者数（2020年）　（単位：人，%）

	総数	第１次産業			第２次産業			第３次産業		
		総数	うち 農林業	うち 漁業	総数	うち 建設業	うち 製造業	総数	うち 卸売・小売	うち 医療・福祉
枕崎市	9,382	1,116	996	120	2,049	510	1,507	6,072	1,349	1,810
	―	11.9	10.6	1.3	21.8	5.4	16.1	64.7	14.4	19.3
指宿市	18,640	3,934	3,770	164	2,496	1,210	1,279	12,192	2,467	3,428
	―	21.1	20.2	0.9	13.4	6.5	6.9	65.4	13.2	18.4
南さつま市	14,216	1,488	1,299	189	2,988	1,203	1,774	9,732	1,872	3,254
	―	10.5	9.1	1.3	21.0	8.5	12.5	68.5	13.2	22.9
南九州市	16,320	3,619	3,567	52	3,381	1,172	2,186	9,071	1,938	2,796
	―	22.2	21.9	0.3	20.7	7.2	13.4	55.6	11.9	17.1
管内計	58,558	10,157	9,632	525	10,914	4,095	6,746	37,067	7,626	11,288
	―	17.3	16.4	0.9	18.6	7.0	11.5	63.3	13.0	19.3
県計	738,343	61,464	56,882	4,582	138,793	60,268	77,992	525,048	111,847	135,814
	―	8.3	7.7	0.6	18.8	8.2	10.6	71.1	15.1	18.4

※　下段は，就業者の総数に占める割合

出典：総務省「2020年国勢調査」（就業状態等基本集計結果）

(3) 市民所得

・ 管内の1人当たりの市町村民所得は2,448千円で，県平均の91.4%である（表３）。

【表３】市民所得（2022年）

区分 / 市名	市民所得		１人当たり市民所得		
	金額	前年比	金額	前年比	県内順位
枕崎市	49,263 百万円	106.3%	2,565 千円	108.4%	19 位
指宿市	90,946 百万円	102.4%	2,409 千円	104.2%	33 位
南さつま市	76,171 百万円	106.2%	2,395 千円	108.2%	35 位
南九州市	83,244 百万円	103.6%	2,631 千円	106.1%	14 位
管内計 ①	299,624 百万円	104.3%	2,488 千円	106.4%	―
県計 ②	4,253,221 百万円	103.6%	2,722 千円	104.5%	―
管内割合 ①／②	7.0 %	―	91.4 %	―	―

出典：県統計協会「市町村民所得推計（市町村民所得）」

(4) 管内高校（11校）の進学・就職状況

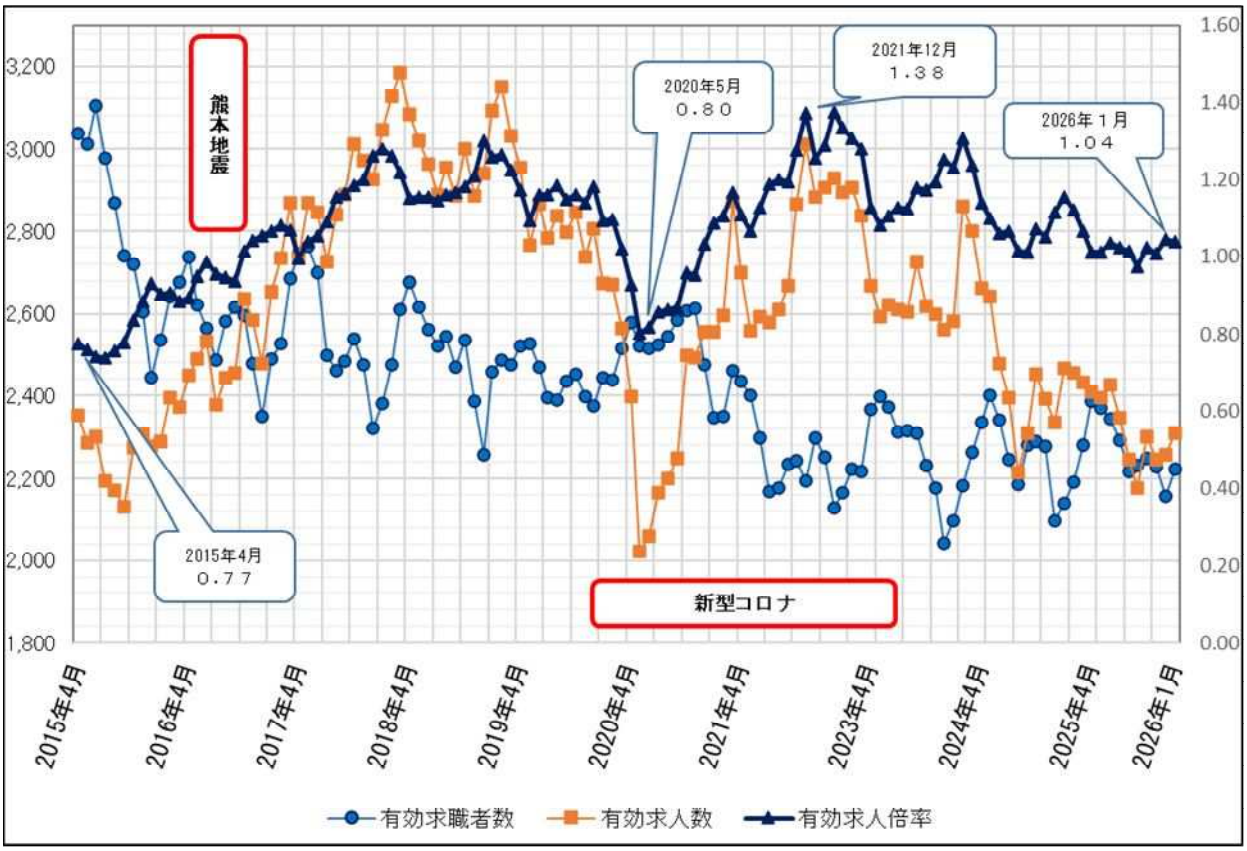
- 南薩地域の高校を2023年３月に卒業した者の就職率は，本県の就職率よりやや高いが，県全体と同程度の割合で県外に就職するため，各分野で労働力不足が生じている（表４）。
- 有効求人倍率は，2016年10月から2020年３月までは１倍を超えていたが，2020年４月から11月までは新型コロナウイルスの影響による有効求人数の減少で0.8～0.9倍台となり，2020年12月以降は再び１倍を超えて推移している。長期的に見ると有効求職者数が減少傾向になっていることが人手不足に影響しているものと考えられる（図２）。

【表４】管内高校（11校）の進学・就職状況（2024年）

区分／市名	卒業生	進学等	就職	県外	県内	進学等率	就職率
枕崎市	125人	58人	65人	33人	32人	46.4%	52.0%
指宿市	248人	159人	84人	10人	74人	64.1%	33.9%
南さつま市	446人	390人	53人	8人	45人	87.4%	11.9%
南九州市	147人	63人	79人	42人	37人	42.9%	53.7%
管内計	966人	670人	281人	107人	174人	69.4%	29.1%
県計	13,328人	9,714人	3,165人	1,166人	1,999人	72.9%	23.7%

出典：2024年度学校基本統計（卒業後の状況調査／2024年3月卒）

【図２】管内の求人・求職の動向（2015年4月～2026年1月）



4　農林水産業

野菜・果樹・花きの産地づくり

日本一の茶産地づくり

未来につなぐみんなの森づくり(再造林)

(1)　農業

①　耕地の現況等

ア　耕地の状況

耕地面積は17,020haで，県全体の15.4%を占め，県下有数の農業地帯となっている（表１）。

北部は，川辺，金峰を中心に万之瀬川流域に広がる水田地帯である。西部は，連担する山地が海岸付近まで迫り，耕地は大部分が傾斜地で散在しており，小区画の棚田，迫田，段畑が多い。また，水源に乏しいため，干害を受けやすく厳しい条件下にある。南東部は，南薩台地約6,000haの畑を対象に国営事業等により畑地かんがい施設が整備され，1981年の通水開始以来，茶，露地野菜など生産性の高い農業が営まれている。

【表１】耕地面積等

市　名	面　積 (ha)	耕地面積(ha)		
			田	畑
枕崎市	7,475	1,450	60	1,390
指宿市	14,882	3,280	257	3,030
南さつま市	28,359	3,520	1,470	2,060
南九州市	35,793	8,770	1,330	7,440
管内計　①	86,509	17,020	3,117	13,920
県　計　②	918,604	110,400	33,500	76,900
管内割合　①／②	9.4%	15.4%	9.3%	18.1%

出典：国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」（2025年10月1日現在）
九州農政局「第71次九州農林水産統計年報（令和５年～６年）」

②　農業生産の状況

ア　農畜産物の生産現況

耕地の約８割は畑地であり（表１），温暖な気候と畑地かんがい施設を活かし，茶，野菜，さつまいもや畜産等を中心とした営農が盛んで，農業産出額は，県の２割強を占めており，特に，茶は県全体の約５割を占める一大産地を形成している（表２）。

【表２】農畜産物の生産現況

			2010年	2015年	2020年	2024年
栽培面積	耕種部門					
	水　稲 (ha)		1,683	1,670	1,559 (8.1)	1,424 (8.3)
	かんしょ (ha)		3,426	3,178	2,772 (25.4)	2,448 (25.8)
	葉たばこ (ha)		250	160	144 －	109 －
	果　樹 (ha)		362	287	210 －	178 －
	野　菜 (ha)		3,719	3,758	4,045 －	3,547 －
	茶 (ha)		4,207	4,170	4,110 (49.1)	4,066
	花　き (ha)		360	286	180 －	163 －
	飼料作物 (ha)		1,655	1,679	1,723 (5.7)	2,062 (6.6)
飼養頭羽数	畜産部門					
	乳用牛 （頭）		2,690	2,730	2,130 (15.8)	1,830 (15.3)
	肉用牛 （頭）		61,100	51,600	50,900 (14.5)	51,200 (14.1)
	豚 （頭）		191,700	164,000	172,900 (14.0)	182,400 (15.2)
	鶏	ﾌﾞﾛｲﾗｰ（千羽）	1,526	1,824	1,387 (5.1)	1,481 (4.6)
		採卵鶏 （千羽）	―	2,479	2,565 (21.4)	2,166 (21.2)
農業産出額	枕崎市		10,390	10,461	10,461	9,549
	指宿市		25,570	25,985	25,985	34,105
	南さつま市		8,770	9,325	9,325	9,900
	南九州市		46,230	49,673	49,673	53,875
	合計(百万円)		90,960 (22.7)	95,444 (21.5)	95,444 (21.5)	107,431 (－)

※　（　）は県計に占める割合％

出典：水稲：2024年農林水産省統計データ
水稲以外：市報告（ただし，飼料作物は「飼料作物の作付草地等の利用状況調査」）
畜産部門：鹿児島県における家畜の飼養戸数・頭羽数調査（各年２月）
農業産出額：市報告（南薩地域振興局農政普及課調べ）

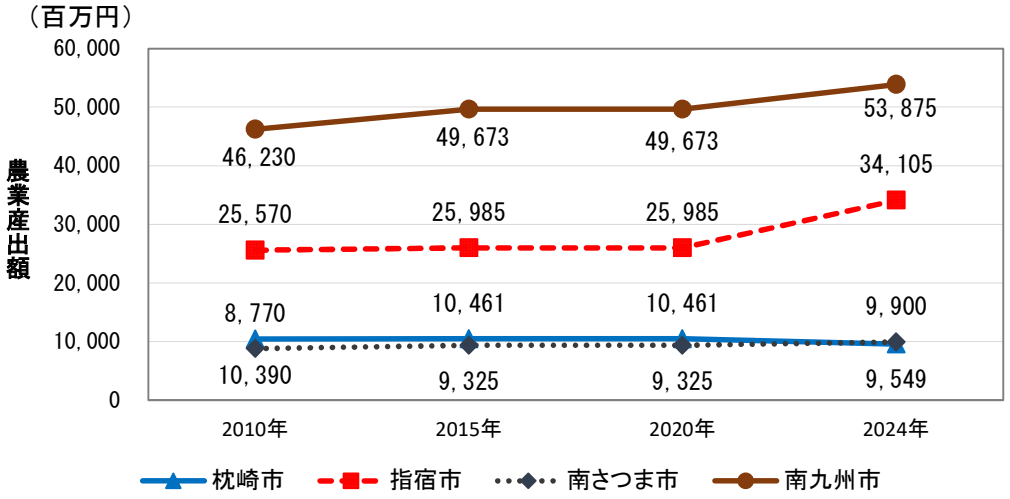
【主な品目】

野　　菜 ― オクラ，スナップえんどう，キャベツ，そらまめ，だいこん，かぼちゃ
果　　樹 ― きんかん，ぽんかん，たんかん，マンゴー
花き・花木 ― 観葉植物，輪ギク，スプレー菊，グラジオラス，クルクマ

イ　農業産出額

2024年の管内の農業生産額は，107,431百万円となっており，南九州市が約５割を占め，次いで指宿市（32%），南さつま市（９%），枕崎市（９%）となっている（図１）。

【図１】市別農業産出額の推移



出典：各市報告（南薩地域振興局農政普及課調べ）

ウ　かごしまブランド団体の認定状況

県では，「かごしまブランド産品」として指定された品目で，一定の基準を満たして生産する団体等を「かごしまブランド団体」として認定している。

南薩地区では2025年１月現在，かごしまブランドの第１号として指定された加世田の「かぼちゃ」をはじめ，９品目で11団体が認定されている（表３）。

【表３】管内のかごしまブランド産品

ブランド産品	ブランド団体　（関係市町村）
かごしまのかぼちゃ	ＪＡ南さつま（南さつま市，南九州市，枕崎市）
かごしまのさつまいも	ＪＡいぶすき（南九州市），ＪＡ南さつま（南九州市）
かごしまのらっきょう	ＪＡ南さつま（南さつま市）
かごしまのきんかん	ＪＡ南さつま（南さつま市，南九州市，枕崎市）
かごしまのたんかん	ＪＡ南さつま（南さつま市，南九州市，枕崎市）
かごしまのマンゴー	ＪＡさつま日置（南さつま市），ＪＡいぶすき（指宿市）
かごしまの米	ＪＡさつま日置金峰地区水稲部会特別栽培米専門部会（南さつま市）
かごしまのオクラ	ＪＡいぶすきオクラ部会エコオクラグループ（指宿市）
かごしまの大将季	ＪＡさつま日置果樹部会施設中晩柑部会（南さつま市）

エ　農業生産工程管理（GAP※）の導入推進

本県産農林水産物の安心・安全を確保するために，全国に先駆けて導入したK-GAP（かごしまの農林水産物認証制度）において，南薩地区では2026年1月時点で，37団体等が20品目で39件の認証を取得している。

また，海外への輸出を見据えているお茶等の生産者・団体においては，K-GAPにとどまらず，ASIAGAPやGLOBALG.A.P.などの国際水準ＧＡＰの認証を取得するところも増えている。

※　GAP：Good Agricultural Practice（直訳では適正な農業のやり方）の略で，農産物等の安全を考えた農業生産工程の点検項目に沿って記録，点検，評価とその改善を繰り返す手法

オ　ＩＰＭ（Integrated Pest Management）の取組状況

南薩地区では，露地で生産するオクラにおいて，テントウムシなどの天敵を活用したＩＰＭ技術でアブラムシなど害虫を抑制し，化学合成農薬の使用を低減する防除体系を確立し，いぶすき農協オクラ部会の農家を中心に普及拡大を図っている。

また，豆類やピーマン，マンゴーなどの園芸作物やお茶などでも，ＩＰＭ技術への取組が進んでいる。

カ　お茶の輸出に向けた取組

南薩地区では，2014年５月，茶工場の会員からなる「南薩地区輸出茶研究会」を設立し，有機栽培茶の面積拡大による輸出茶生産の取組を進めてきたが，有機栽培面積の増加や，輸出相手国，茶種が多岐にわたることから研究会を解散し，地区全体で取り組んでいる。（表４）。

また，海外で需要の高まっている有機栽培茶や抹茶の原料となるてん茶の生産拡大に向けて，生産体制の整備を推進しており，新たに取組を開始する農家が増加している（表５）。

【表４】南薩地区輸出研究会及びＪＡＳ有機認証茶園面積

	研究会工場数	ＪＡＳ有機認証茶園面積（ha）
2021年	67	147
2022年	65	148
2023年	65	150
2024年	65	178
2025年	解散	

出典：各市及び県経営技術課調べ

【表５】南薩地域におけるてん茶の生産状況

	生産実績(t)	年度	生産実績(t)
2016年	151	2021年	378
2017年	191	2022年	495
2018年	240	2023年	473
2019年	370	2024年	872
2020年	336		

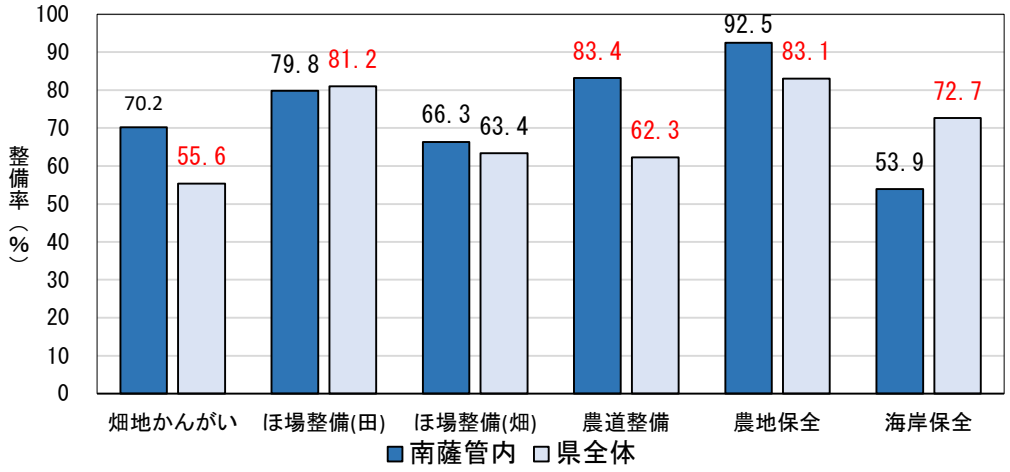
出典：各市調べ

③　農業農村整備の状況

ア　管内の整備概況

- 指宿市，南九州市南部及び枕崎市東部の大規模畑地帯において，ほ場整備，畑地かんがい，農地保全など総合的に整備されている（図２・表６）。
- 南さつま市金峰町から大浦町にかけては，ほ場整備，干拓事業などにより大規模な水田地帯が整備されている。
- 南薩地区，川辺地区広域農道を始め，管内全体で農道整備が進んでいる(表７)。
- その他管内の数あるシラス台地では，農地保全事業により排水路が整備されている。

【図２】土地改良事業による整備率（2025年4月現在）



	畑地かんがい	ほ場整備(田)	ほ場整備(畑)	農道整備	農地保全	海岸保全
整備目標	9,570 ha	3,310 ha	12,890 ha	2,110 km	16,270 ha	13.2 km
実施済	6,722 ha	2,642 ha	8,551 ha	1,759 km	15,050 ha	7.1 km

【表６】大規模畑かんの整備状況

地区名	市町村	事業期間	事業量
南薩	指宿市，枕崎市 南九州市頴娃町・ 知覧町	国営　1970年 ～ 1984年	畑地かんがい　5,935 ha
		県営　1972年 ～ 1994年	区画整理　4,806 ha
金峰	南さつま市金峰町	かん排　1987年 ～ 2005年	畑地かんがい　373 ha
		畑総　2005年 ～ 2016年	

【表７】広域農道の整備状況

地区名	市町村	事業期間	事業量
南薩	南九州市頴娃町・知覧町 枕崎市，南さつま市	1972年 ～ 1993年	道路延長　26.5 km
南薩東部	指宿市，南九州市頴娃町	1994年 ～ 2017年	道路延長　23.8 km (農水省区間　12.9 km　) (国交省区間　10.9 km　)
川辺	南さつま市加世田･大浦町 ･笠沙町，南九州市川辺町	1991年 ～ 2013年	道路延長　32.2 km (農水省区間　21.3 km　) (国交省区間　10.9 km　)
日置南部	南さつま市金峰町	1998年 ～ 2009年	道路延長　5.2 km (金峰区間のみ)

【図３】農業基盤整備状況図

【参考】南薩畑かん事業の概要

１　事業概要

⑴　国営事業

・施工期間　　1970～1984年度
・総事業費　　18,291百万円
・事業内容　　基幹水利施設(取水施設，導水路，送水路，揚水施設，水管理施設)

⑵　県営事業

・施工期間　　1972～1994年度
・総事業費　　52,572百万円
・事業内容　　区画整理，農道，農地保全，畑地かんがい（5,935ha）

⑶　県営事業　※更新事業実施中（畑総南薩地区，水利施設整備第一南薩地区，第二南薩地区）

・施工期間　　2013年度～
・総事業費　　18,614百万円（2025年4月1日現在）
・事業内容　　給水栓補修工３万箇所，埋設管移設工44km，基幹水利施設更新一式他

・　広大な畑作地帯を有しながらも，火山灰層（シラス，コラ）のため土壌の保水・吸水性に乏しく，空梅雨時には干害が発生するなど農耕には適さず，栽培できる作物もかんしょ，麦，なたねなどに限られていた。

３　事業目的

・　池田湖を水源とした畑地かんがいと区画整理によって，生産性や品質の向上，選択性の拡大により，農業生産額の増加と農家の経営の安定，所得の向上を図る。

４　事業成果

・　新規作物の導入が可能となり，野菜や茶を中心とした畑地かんがい営農が定着し，国内屈指の一大畑作地帯へ発展

・　農業用水の確保や区画整理を契機に規模拡大が進み，農家１戸当たりの生産農業所得が増加（県平均より高い水準）

５　主要作物

従前：かんしょ，麦，なたね　など

整備後：規模拡大　－　茶，だいこん，実えんどう
　　新規導入　－　オクラ，そらまめ，かぼちゃ，キャベツ，にんじん

④　就農者の現況等

ア　農家の状況

・　2020年農林業センサスによると，南薩地域の総農家戸数は5,671戸と５年前に比べ1,830戸減となっている（表８・図４）。

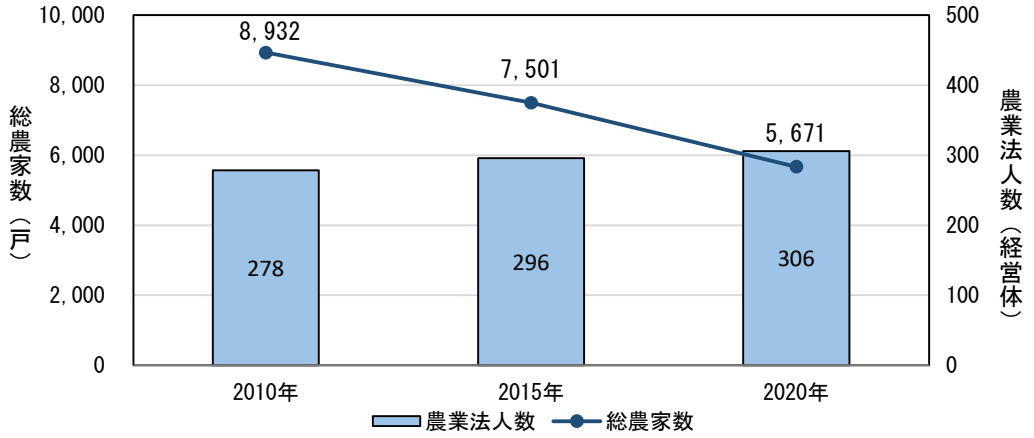
【表８】農家戸数等の推移

項　目	総農家戸数						農業法人数（経営体）
		販売農家				自給的農家	
			主業農家	準主業農家	副業的農家		
2010年	8,932	5,310	2,222	749	2,339	3,622	278
2015年 A	7,501	4,574	2,049	564	1,961	2,927	296
2020年 B	5,671	3,480	1,616	222	1,617	2,191	306
対比　B/A	75.6 %	76.1 %	78.9 %	39.4 %	82.5 %	74.9 %	103.4 %
県占有率	11.7 %	12.3 %	18.4 %	7.5 %	9.8 %	10.9 %	22.9 %

※1　2020年の主業・準主業・副業的農家数は個別経営体の内数であるため，販売農家数とは合致しない。
※2　2010年及び2015年の農業法人数は，農事組合法人及び会社組織の計

出典：農林水産省「農林業センサス（ただし2010年は世界農林業センサス）」

【図４】農家戸数の推移



イ　農業就業人口

・　年齢別農業就業人口は，（調査対象が異なり一概に比較できないが）５年前と比較して，15～29歳の割合が減少し，65歳以上の割合が増加している（表９）。

【表９】農業就業人口の推移

	年齢別農業就業人口（人）				
	15歳～29歳	30歳～49歳	50歳～64歳	65歳～	計
2010年	456 （ 4.5%）	1,449 （ 14.4%）	2,880 （ 28.7%）	5,244 （ 52.3%）	10,029
2015年	259 （ 3.1%）	1,228 （ 14.9%）	2,595 （ 31.5%）	4,162 （ 50.5%）	8,244
2020年	65 （ 1.2%）	862 （ 15.3%）	1,688 （ 29.9%）	3,031 （ 53.7%）	5,646

※1　下段の（ ）は構成比
※2　2020年は基幹的農業従事者数（個別経営体）の年齢別内訳を記載（センサスの調査対象が変更されたため）

出典：農林水産省「農林業センサス（ただし2010年は世界農林業センサス）」

ウ　農業担い手等の状況

・　2023年度の認定農業者数は1,277経営体で，県全体の約18%を占め，2009年度の1,713戸をピークに減少傾向となっている。これは高齢化などで経営規模縮小農家が再認定を受けないことなどが原因で，県全体も同様となっている。一方，法人経営体は，268経営体となっている（表10）。

【表10】認定農業者の推移　（単位：経営体数，%）

	2020年		2021年		2022年		2023年	
		うち法人		うち法人		うち法人		うち法人
枕崎市	134	37	119	32	124	33	107	24
指宿市	351	50	347	51	344	51	337	55
南さつま市	159	28	151	26	150	25	141	22
南九州市	728	165	719	169	698	168	692	167
管内計　A	1,372	280	1,336	278	1,316	277	1,277	268
県計　B	7,846	1,226	7,644	1,265	7,281	1,166	7,166	1,152
県対比A／B	17.5	22.8	17.5	22.0	18.1	23.8	17.8	23.3

出典：県経営技術課調べ

エ　新規就農者の状況

・　新規就農者数は，2012年度から農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金）が始まり，50人前後で推移していたが，各産業で雇用者が不足していることもあり，2017年度から減少傾向にあり，2022年度は増加したものの，2024年は前年度に比べて９名減の21人であった。（表11）。

【表11】新規就農者の推移　（単位：人，%）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
枕崎市	1	7	2	2	5	2
指宿市	11	13	23	18	10	7
南さつま市	4	6	0	7	2	5
南九州市	10	6	7	18	13	7
管内計　A	26	32	32	45	30	21
県計　B	275	229	218	229	203	165
県対比A／B	9.5	14.0	14.7	19.7	14.8	12.7

出典：県経営技術課調べ

(2)　林業

①　林産物の生産現況等

・　素材生産は，製材，チップ，輸出，土木資材用が主で，近年増加傾向である。

・　全国有数のかつお節生産地である当管内では，かつお節製造用に使用されるまきの生産が多く，県内の77.3%を占めている（表12）。

・　地域固有の資源であるつげ材は県内では唯一の生産地で，その加工品は伝統工芸（印章，櫛）となっている。

・　1990年度以降減少傾向にあった林業生産額は，近年，木材などの生産額が増加傾向である（表13）。

【表12】林産物の生産量の推移

林産物名	単位	2005年	2010年	2015年	2020年	2024年	
素材生産(針葉樹)	千㎥	20.4	24.8	40.2	44.4	54.2	(4.0 %)
まき	RM	7,574.0	6,908.0	11,024.0	7,168.0	10,745.0	(77.3 %)
緑化樹	千本	33.3	15.8	4.0	データなし	データなし	－
生しいたけ	t	57.1	145.8	140.7	97.8	49.7	(10.2 %)
ひらたけ	t	70.0	80.0	50.0	0.0	－	－
つげ材	t	15.0	17.1	35.4	100.0	110.0	(100.0 %)

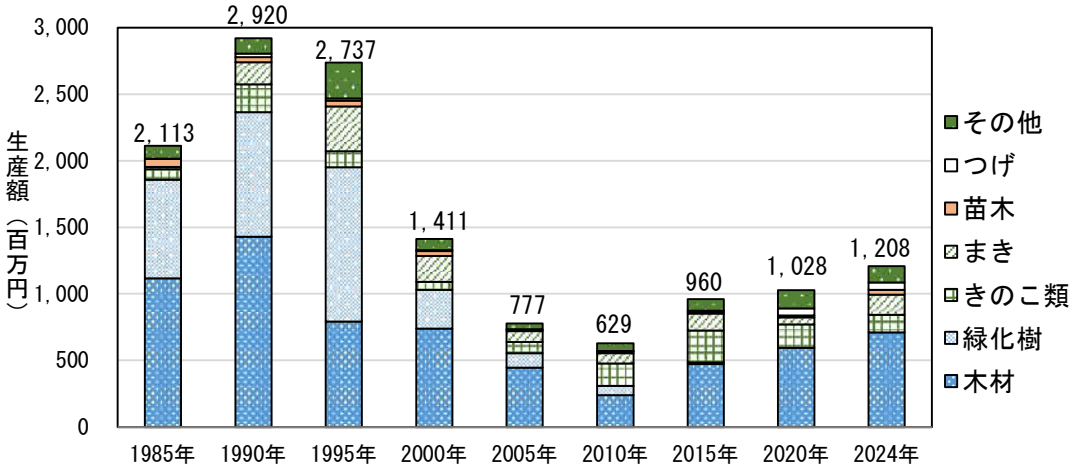
出典：「2025年度鹿児島県森林・林業統計」

※1　（　）は，県計に占める割合
※2　「まき」の単位RM（ラウムメーター）は，層積立方メートル（まきをコンテナに積載した際に生じるすきま（空間）を含む体積のこと）。

【表13】林業生産額の推移　（単位：百万円）

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2024年
木材	1,118	1,429	792	740	445	240	473	596	712
緑化樹	738	935	1,160	292	108	69	13	データなし	データなし
きのこ類	81	208	119	60	84	169	240	174	132
まき	16	166	337	194	83	77	127	53	150
苗木	60	41	44	35	11	12	13	16	35
つげ	3	26	17	7	5	4	9	50	55
その他	97	115	268	83	41	58	85	139	124
計	2,113	2,920	2,737	1,411	777	629	960	1,028	1,208

出典：「2025鹿児島県森林・林業統計」からの推計値



②　森林の現況等

・　森林面積は46,324haで，総土地面積の54%と県全体の65%に比べて低い（表14）。
　民有林は42,815haで，民有林率92%と県全体の民有林率74%と比べ高い（表14）。
　民有林の所有形態別面積は，私有林が40,114ha(93.7%)と大部分を占めており，次いで，市有林が2,552ha(6.0%)，県有林149ha(0.3%)である（表14）。

・　民有林の針広別面積は，スギ，ヒノキ主体の針葉樹が22,984ha(54%)，シイ，カシ主体の広葉樹が18,364ha(43%)である（表15）。
　民有林の樹種別面積は，スギ15,967ha(37%)とヒノキ6,166ha(14%)とで過半を占めている。マツは842ha(2%)と占める割合は小さいものの，主に海岸沿線に分布しており，防風・防潮機能の上で重要な役割を果たしている（表15）。

【表14】森林面積　（単位：ha）

	総土地面積	森林面積	国有林	民有林				森林率	国有林率	民有林率
	A	B	C	D	県有林	市有林	私有林	B／A	C／B	D／B
枕崎市	7,478	3,385	33	3,352	8	230	3,114	45 %	1 %	99 %
指宿市	14,882	5,980	689	5,291	22	232	5,037	40 %	12 %	88 %
南さつま市	28,359	18,224	746	17,478	39	996	16,443	64 %	4 %	96 %
南九州市	35,791	18,735	2,042	16,693	80	1,093	15,520	52 %	11 %	89 %
管内計	86,510	46,324	3,509	42,815	149	2,552	40,114	54 %	8 %	92 %
県　計	918,620	594,261	154,284	439,977	7,963	59,323	372,691	65 %	26 %	74 %

※　四捨五入の関係で計が一致しないことがある。

出典：「2025年度鹿児島県森林・林業統計」

【表15】樹種別面積　（単位：ha）

	針葉樹					広葉樹	特殊樹林	竹林	その他	計
	スギ	ヒノキ	マツ	その他	計					
管内計	15,967	6,166	842	10	22,984	18,364	0	564	903	42,815
割　合	37 %	14 %	2 %	0 %	54 %	43 %	0 %	1 %	2 %	
県　計	115,779	60,261	9,045	190	185,275	217,568	631	20,145	16,359	439,977
割　合	26 %	14 %	2 %	0 %	42 %	49 %	0 %	5 %	4 %	

※　四捨五入の関係で計が一致しないことがある。

出典：「2025年度鹿児島県森林・林業統計」

③　林業就業者の現況等

- 管内の林業就業者は，2024年度は166人で，2020年度に比べ25人増加した。
- 事業体数は，26事業体となっている。
- 新規就業者数は10人となっている。

【表16】林業就業者の状況

	就業者数	事業体数
2005年	147人　（ 8.3 %）	36　（ 11.8 %）
2010年	279人　（ 16.5 %）	33　（ 13.5 %）
2015年	172人　（ 11.2 %）	20　（ 8.7 %）
2020年	141人　（ 10.0 %）	19　（ 7.9 %）
2024年	166人　（ 11.9 %）	26　（ 11.0 %）

※　（ ）は県全体に占める割合

出典：県森林経営課調べ

	新規就業者数
2016年	12人　（152人）
2017年	19人　（174人）
2020年	11人　（140人）
2024年	10人　（140人）

※　（ ）は県計の数値

出典：県森林経営課調べ

④　森林土木関係

ア　治山事業

管内東部は崩壊しやすいシラスが広く分布している一方，西部は急峻な地形を呈し，地すべり性崩壊を起こしやすい地質である。また，南・西部は長い海岸線を有しているのが特徴である。このため，台風や集中豪雨による多大な影響を受けやすく，林地崩壊や潮・風害が発生し，人家，河川，農耕地，公共施設等が被害を受けている。

このような状況を踏まえ，崩壊地の復旧，危険地の崩壊防止，既設治山施設の災害復旧等を実施するとともに，施設の老朽化に対する計画的な長寿命化を推進し，山地災害の防止や保安林機能の維持・増進に努めている。

イ　林道事業

林業生産基盤の確立と山村地域の振興を図るため，林道網の整備を進めている。林道等密度は，県の平均7.0m/haは上回っているものの，当管内の目標値12.8m/haに対して，2023年度末で7.4m/haとなっている。

【表17】林道の状況

	整備状況			整備目標
	森林面積（ha） A	開設延長（m） B	林道等密度（m/ha） B／A	林道等密度 (m/ha)
枕崎市	3,357	11,536	3.4	―
指宿市	5,106	33,540	6.6	―
南さつま市	15,949	152,199	9.5	―
南九州市	16,902	107,783	6.4	―
管内計	41,315	305,058	7.4	12.8
県計	435,433	3,028,373	7.0	11.6

出典：「2025年度鹿児島県森林・林業統計」

※1　森林面積は，2016年4月1日現在の森林面積(※４の計画基準面積)
※2　開設延長は，林道，林業専用道のほか，林業専用道（規格相当）を含む
※3　林道等密度は，小数第2位を四捨五入
※4　整備目標は，2016年度に策定した民有林林道等整備計画での2075年度末目標値
※5　四捨五入の関係で計が一致しないことがある。

(3) 水産業

①　水産物の生産現況等

ア　生産状況

・　2023年の管内海面漁業生産量は10,819トンで，県全体の25.3%を占めている（表18）。

漁業部門別では，遠洋漁業は，枕崎市で遠洋かつお一本釣漁業が営まれている。沖合漁業は，枕崎市の中型まき網漁業２統，指宿市の瀬物一本釣り１隻が操業している。

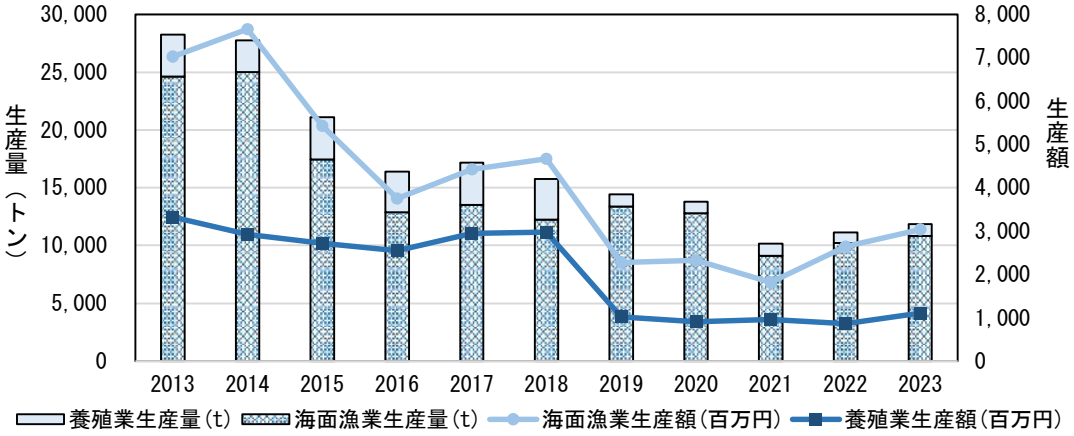
沿岸漁業は，吹上浜南部海域でのバッチ網，吾智網，刺網，一本釣等や，南薩海域での定置網，一本釣，曳縄，刺網等が営まれている。また，鹿児島湾口部では一本釣り，たこつぼ，定置網や刺網等の漁業が営まれている。

・　2023年の管内海面養殖業生産量は1,036トンで，県全体の2.3%を占めており，2013年に比べ2,612トン減少している（表18）。南さつま市及び指宿市でカンパチやブリが，南さつま市ではクロマグロ養殖が営まれているほか，陸上では南九州市及び南さつま市でクルマエビが，指宿市でウナギが養殖されている。

【表18】南薩地区水産物生産の推移

	海面漁業		養殖業		合計		南薩／県 （生産額）
	生産量(t)	生産額(百万円)	生産量(t)	生産額(百万円)	生産量(t)	生産額(百万円)	
2013年	24,597	7,025	3,648	3,320	28,245	10,345	15.1 %
2014年	25,014	7,656	2,725	2,919	27,739	10,575	13.5 %
2015年	17,458	5,429	3,629	2,720	21,087	8,149	13.2 %
2016年	12,896	3,753	3,499	2,547	16,395	6,300	10.2 %
2017年	13,512	4,421	3,649	2,945	17,161	7,366	10.2 %
2018年	12,264	4,669	3,485	2,972	15,749	7,641	10.0 %
2019年	13,372	2,278	1,036	1,021	14,408	3,299	4.3 %
2020年	12,779	2,325	991	913	13,770	3,238	5.0 %
2021年	9,124	1,815	1,033	955	10,157	2,770	4.2 %
2022年	10,209	2,641	1,036	911	11,245	3,552	4.6 %
2023年	10,819 (25.3%)	3,035	1,036 (2.3%)	1,110	11,855	4,145	5.4 %

出典：2012年から2018年は農林水産省「農林水産統計」。
ただし2015年～2018年の養殖業の生産量及び生産額は，県水産振興課「海面養殖実態調査」
2019年以降の管内海面漁業，養殖業は南薩地域振興局林務水産課調べ。
（ ）は県全体に占める南薩地区の割合



イ　漁船の状況

・　2024年の管内の海水動力漁船数は700隻で，県全体（7,640隻）の9.2%となっている（表19）。

【表19】動力漁船数の推移　（単位：隻）

階　層　別	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
5ﾄﾝ未満	835	794	774	745	722	690	668	641	624	606	597	576
5ﾄﾝ以上20ﾄﾝ未満	144	137	133	134	137	132	135	129	130	126	127	121
20ﾄﾝ以上	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3
管内合計	986	938	913	885	865	828	809	776	760	738	730	700
	(9.4%)	(9.3%)	(9.3%)	(9.3%)	(9.4%)	(9.1%)	(9.5%)	(9.3%)	(9.3%)	(9.2%)	(9.3%)	(9.2%)
県計	10,473	10,112	9,780	9,509	9,243	9,058	8,529	8,324	8,155	8,001	7,817	7,640

※　（　）は県計に占める割合

出典：県水産振興課「漁船統計表（海水動力漁船）」

②　水産業就業者の現況等

・　管内就業者は，2023年は2018年に比べて55人減少した。また，経営体数も61経営体減少した（表20）。

・　2024年における管内の新規就業者数は３名となっている。

【表20】水産業就業者の状況

	就 業 者 数	経 営 体 数
2008年	894人　（ 10.5 %）	462　（ 10.5 %）
2013年	734人　（ 10.2 %）	388　（ 10.2 %）
2018年	579人　（ 9.5 %）	315　（ 10.1 %）
2023年	524人　（ 10.9 %）	254　（ 9.9 %）

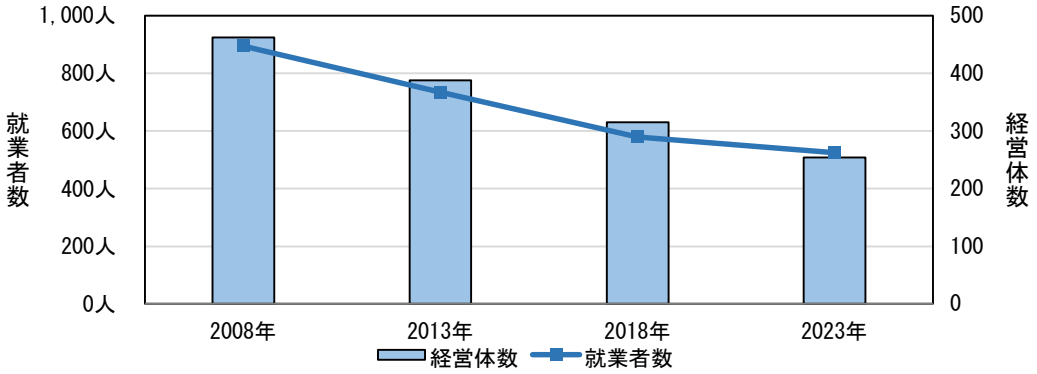
※　（　）は県全体に占める割合

出典：農林水産省「漁業センサス」

	新規就業者数
2021年	2人　（65人）
2022年	7人　（89人）
2023年	2人　（114人）
2024年	3人　（84人）

※　（　）は県計の数値

出典：県水産技術開発センター調べ



③　市場別水揚げの状況

ア　取扱数量

- 枕崎市漁協地方卸売市場　66,915ｔ（構成比42%，県１位）
- 山川町漁協地方卸売市場　41,254ｔ（構成比26%，県２位）

イ　取扱金額

- 枕崎市漁協地方卸売市場　17,985百万円（構成比28%，県１位）
- 山川町漁協地方卸売市場　13,359百万円（構成比21%，県３位）

ウ　取扱魚種

- 枕崎市漁協地方卸売市場　かつお，まぐろ類，さば
- 山川町漁協地方卸売市場　かつお，まぐろ類，その他かつお

出典：県水産振興課「鹿児島県水産物卸売市場統計年報　令和５年版」（2023年1～12月の数値）

④　水産物の輸出の状況

- 管内では枕崎漁港及び山川漁港にかつお節の原材料等となる冷凍カツオ等が海外まき網漁船により水揚げされているが，その一部がフィリピン等に缶詰の加工原料として輸出されている。
- 枕崎市漁協等が製造している冷凍カツオのたたき等が商社等を通じてアメリカ等に輸出されている。

【表21】長崎税関鹿児島税関支署枕崎出張所管内（枕崎市，指宿市，南九州市）における輸出実績

（単位：ｔ，百万円）

品目名		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
冷凍カツオ	輸出量	882	1,101	1,464	871	107
	輸出金額	143	211	353	231	33
冷凍マグロ類	輸出量	439	150	125	25	16
	輸出金額	81	25	22	10	5
その他	輸出量	38			6	13
	輸出金額	4			16	23
合計	輸出量	1,359	1,251	1,589	902	136
	輸出金額	228	236	375	257	61

※　輸出入申告等の際に貨物が置かれた場所（保税地域等）の所在地を管轄する税関官署をもとに集計

出典：財務省「貿易統計」

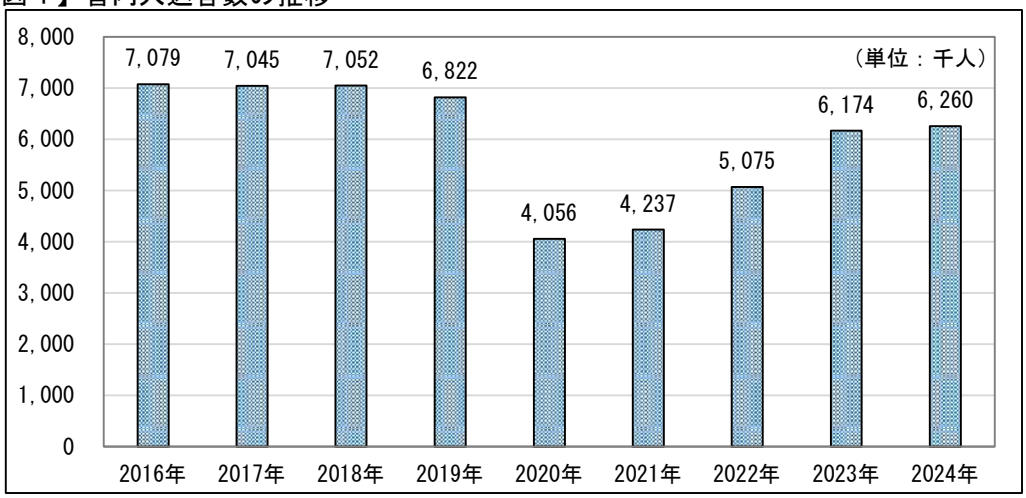
５　観光

(1)　観光客動向

①　管内入込客数

・　2024年の管内の入込客数は，前年比約1.4%増の6,260千人となった。新型コロナウイルス感染拡大前の2019年と比較すると，約9割の回復となった（図１）。

【図１】管内入込客数の推移



出典：南薩地域振興局総務企画課調べ

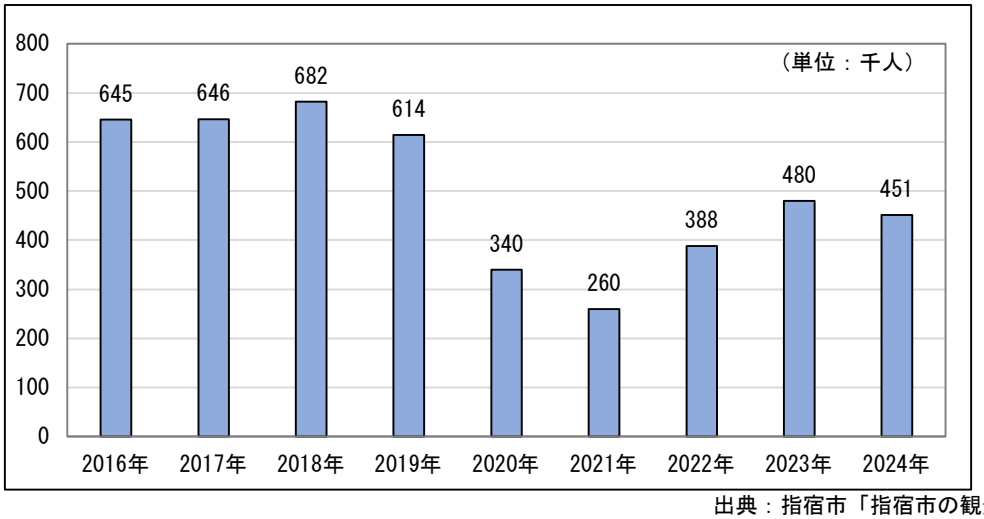
②　指宿市における宿泊者数

・　2024年の指宿市内の宿泊施設の延べ宿泊者数は451千人で，前年比5.9%(28千人)の減少となった（図２）。2023年度で県の旅行需要喚起策「今こそ鹿児島の旅」が終了したことが主な要因と考えられる。

・　発地別では，国内からの宿泊客数はすべての地域において減少した。関東地方が約106.4千人（全体の23.6%）と最多で，以降は近畿地区が約74.4千人（16.5%），県内が約73.7千人（16.3%），北九州地区の49.7千人（11.0%）と続く（表１）。

・　2024年の指宿市内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は，前年比約33.4%増の29,964人であり，昨年度多く来訪した４カ国（台湾，香港，韓国，中国）が大幅に増加した（表２）。

【図２】指宿市における延べ宿泊者数の推移



出典：指宿市「指宿市の観光統計」

【表１】指宿市における発地別延べ宿泊者数　（単位：人）

	2023年	割合（%）	2024年	割合（%）
関東	115,572	24.1 %	106,425	23.6 %
近畿	79,538	16.6 %	74,447	16.5 %
北九州	53,508	11.2 %	49,719	11.0 %
中部	42,818	8.9 %	38,459	8.5 %
南九州	35,465	7.4 %	33,080	7.3 %
中国	21,226	4.4 %	21,118	4.7 %
その他	29,232	6.1 %	24,233	5.4 %
県内	79,823	16.6 %	73,691	16.3 %
海外	22,465	4.7 %	29,964	6.6 %
計	479,647		451,136	

※　その他は，北海道，東北，北陸，四国，沖縄

出典:指宿市「指宿市の観光統計」

【表２】指宿市における外国人延べ宿泊者数　（単位：人）

	2023年	割合（%）	2024年	割合（%）
台湾	4,897	21.8 %	7,584	25.3 %
香港	5,564	24.8 %	7,256	24.2 %
韓国	3,747	16.7 %	5,272	17.6 %
中国	2,051	9.1 %	3,666	12.2 %
シンガポール	1,794	8.0 %	1,716	5.7 %
アメリカ	1,424	6.3 %	1,179	3.9 %
タイ	324	1.4 %	409	1.4 %
その他	2,664	11.9 %	2,882	9.6 %
計	22,465		29,964	

※　その他は，オーストラリア，マレーシア，カナダ，イギリス，ドイツ，
ロシア，フランス，スイスなど

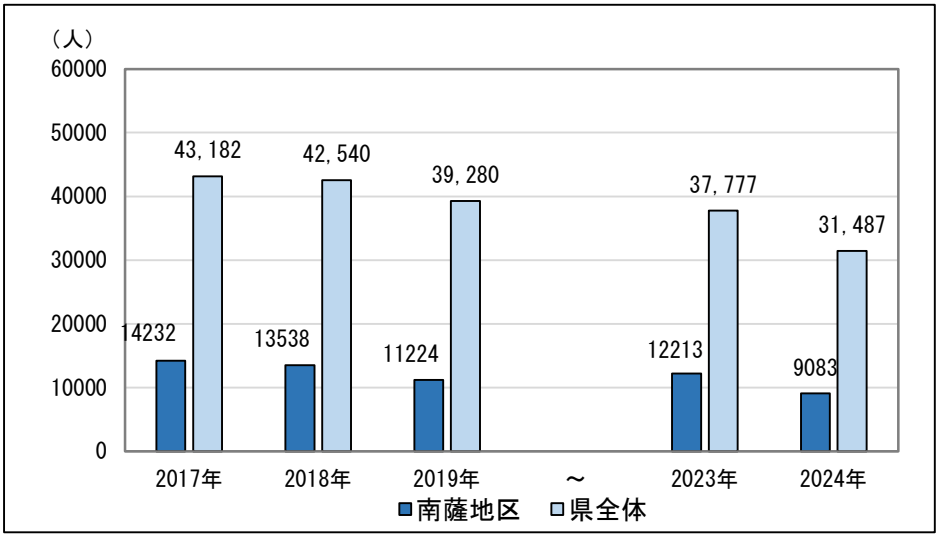
出典:指宿市「指宿市の観光統計」

(2) 教育旅行の受入状況

- 2024年の修学旅行などの延べ宿泊者数は，県全体では前年比約83.3%の31,487人に減少し，南薩地区においても，前年比約74.4%の9,063人に減少した。なお，県全体における南薩地区の割合は約28.8%となっている（図３）。
- 発地別では，九州地区が全体の29.6%を占めて最も多く，次いで関東地区が27.5%，関西地区が20.2%となっている（図４）。
- 県内から南薩地区への修学旅行等の延宿泊者数は，前年比約91.4%の595人と減少した（表３）。県教育旅行受入対策協議会「鹿児島県修学旅行等入込状況調査」では，要因として，少子化に伴う１校あたりの入込数の減少や，コロナ禍に伴う農家民泊の受入家庭数の減少，物価高騰による移動距離あるいは宿泊日数の短縮の影響があったものと推定している。

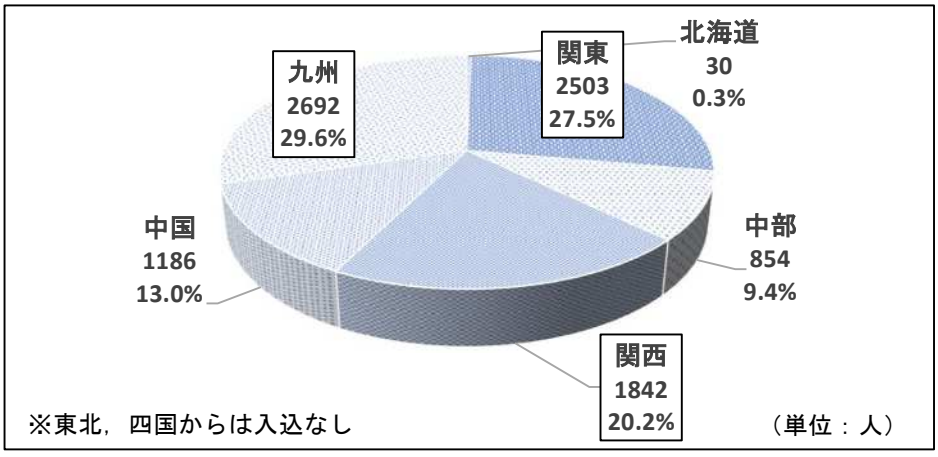
【図３】南薩地域の修学旅行等入込数

※コロナ禍を除く，2017，2018，2019，2023，2024の５年連続回答のあった施設の比較



出典：県教育旅行受入対策協議会「鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

【図４】南薩地域における発地別割合（2024年）



出典：県教育旅行受入対策協議会「鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

【表３】県内から南薩地区への修学旅行等の延宿泊者数　（単位：人）

年	2021	2022	2023	2024
延泊者数	5,363	2,223	651	595

出典：県教育旅行受入対策協議会「鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

(3) スポーツキャンプ・合宿の受入状況

・　2024年度の管内でのスポーツキャンプ・合宿の受入状況は，前年比約86.3%の延べ15,879人となった（県全体の約10.1%）（表４）。
※県全体では，鹿児島国体・大会や南部九州高校総体が開催された2023年度を除くとコロナ禍以前に最多であった2018年度の152,536人を超え，過去最多を更新。

・　指宿市と南さつま市は，宿泊施設やスポーツ施設の設備が整っているため受入数が多い。なお，枕崎市，指宿市，南さつま市では合宿奨励金制度がある。

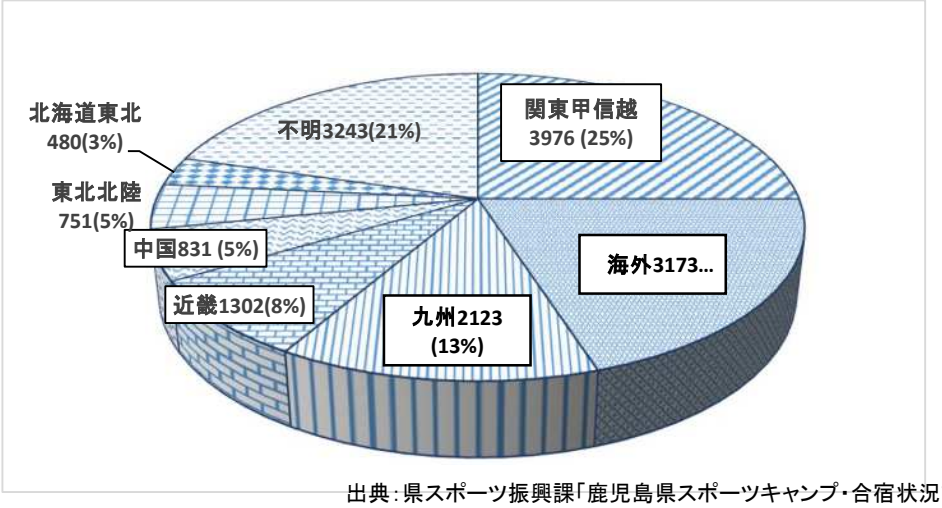
・　発地別では関東甲信越が約25%と最も多く（図５），種目別では野球が約44%，構成別では高校が全体の約30%を占める。（図６）

【表４】南薩地域におけるスポーツキャンプ・合宿の受入状況　（単位：団体・人）

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数
枕崎市	0	0	0	0	7	2,481	11	3,153	6	2,803
指宿市	25	2,977	39	5,520	61	8,707	60	9,700	21	8,369
南さつま市	23	2,795	47	4,240	32	4,389	30	5,020	45	4,707
南九州市	0	0	0	0	0	0	6	520	0	0
管内計	48	5,772	86	9,760	100	15,577	107	18,393	72	15,879
県計	383	45,945	574	62,692	860	115,952	1,436	246,695	1,111	157,940

出典：県スポーツ振興課「鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況調査」

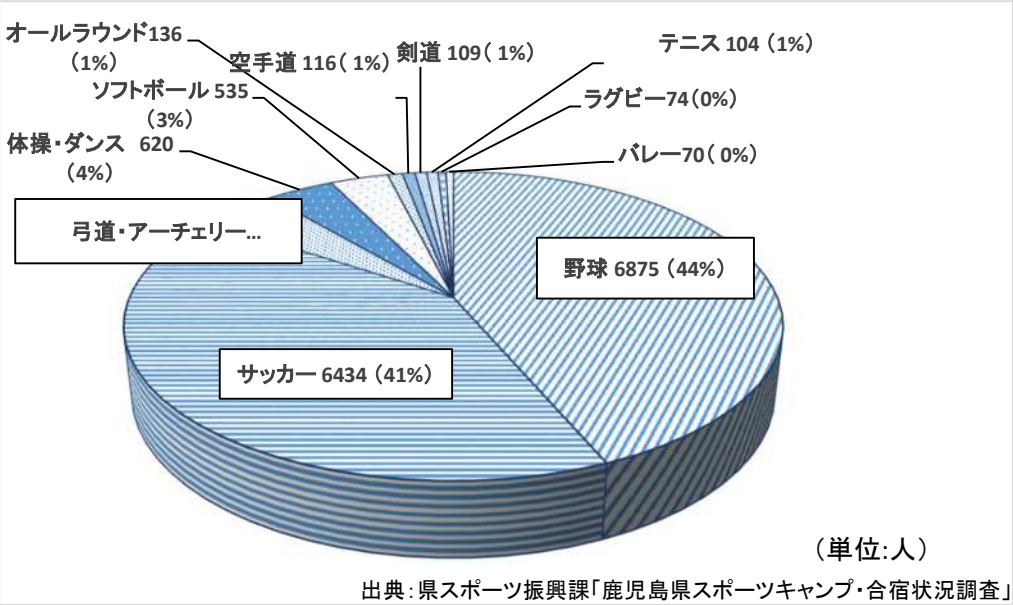
【図５】管内でのスポーツキャンプ合宿の発地別状況　（単位：人）



出典：県スポーツ振興課「鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況調査」

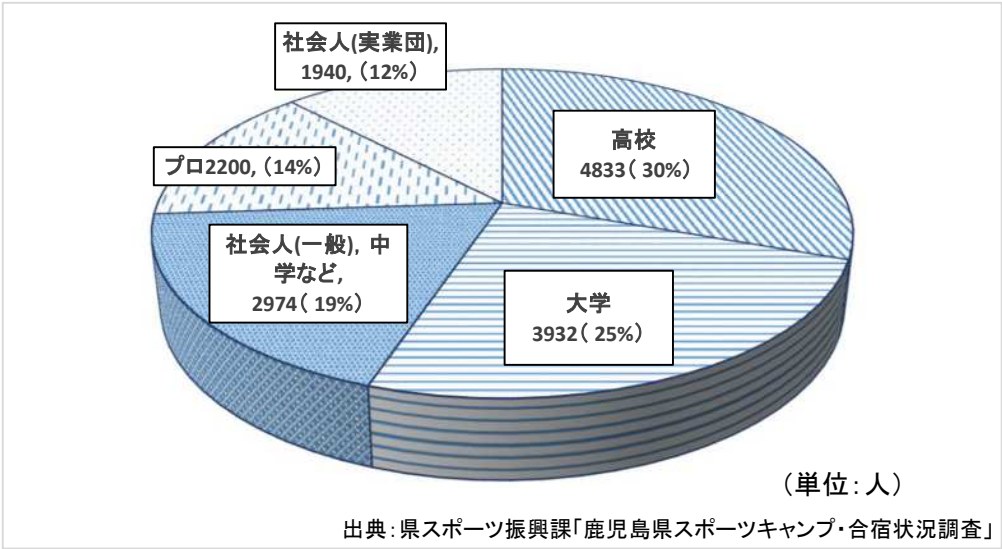
【図６】管内でのスポーツキャンプ・合宿の実施状況

種目別



出典：県スポーツ振興課「鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況調査」

団体別



出典：県スポーツ振興課「鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況調査」

○　プロスポーツキャンプ実績

【2024年】

（サッカー）

・ 柏レイソル（指宿市）
・ 湘南ベルマーレ（指宿市）
・ ＦＣ大阪（指宿市）
・ サンフレッチェ広島レジーナ（指宿市）
・ 鹿児島ユナイテッドＦＣ（指宿市）

（ソフトボール）

・ トヨタレッドテリアーズ（指宿市）

【2023年】

（サッカー）

・ 柏レイソル（指宿市）
・ 湘南ベルマーレ（指宿市）
・ ロアッソ熊本（指宿市）
・ サンフレッチェ広島レジーナ（指宿市）
・ 鹿児島ユナイテッドＦＣ（指宿市）
・ ＦＣ今治（南さつま市）

(4) 主な観光スポット・イベント

	観光スポット	イベント
枕崎市	火之神公園（立神岩） 枕崎お魚センター 枕崎市かつお公社 明治蔵 枕崎駅前 枕崎市文化資料センター南溟館 枕崎なぎさ温泉 火の神蒸溜所	火の神太鼓初打ち（1月） 立神正月相撲（1月） かつおランニングDay（1月） まくらざき春の市（2月） 黒潮すもう大会（6月） 「きばらん海」枕崎港まつり（8月） 新酒祭り（10月末） 枕崎市総合文化祭市民芸能祭（11月） まくらざき朝市（毎月第3日曜）
指宿市	枚聞神社 時遊館COCCOはしむれ 薩摩伝承館 砂むし会館「砂楽」 山川砂むし温泉「砂湯里」 ヘルシーランドたまて箱温泉 レジャーセンターかいもん 池田湖 えぷろんはうす池田 IKEDAKO PAX 鰻池（区営鰻温泉） 知林ヶ島（ちりりんロード） 長崎鼻 龍宮神社 フラワーパークかごしま 西大山駅 道の駅山川港活お街道 唐船峡そうめん流し 道の駅いぶすき彩花菜館 青隆寺	いぶすき菜の花マラソン（1月） いぶすき菜の花マーチ（1月） 九州オールドカーフェスタin指宿かいもん（4月） アロハ宣言（4月） いぶすきフラフェスティバル（6月） 山川みなと祭り（6月） かいもん夏祭り（8月） 指宿温泉祭（9月） 枚聞神社ほぜ祭（10月） ｳｨﾝﾀｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ ﾌﾗﾜｰﾊﾟｰｸ ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ（12月） いぶすき産業祭り（12月） イブの夜にすき焼き（12月） 山川ふるさと歳の市（12月）
南さつま市	万世特攻平和祈念館 焼酎づくり伝承展示館「杜氏の里笠沙」 笠沙美術館（黒瀬展望ﾐｭｰｼﾞｱﾑ） 竹田神社 南さつま海道八景 吹上浜海浜公園 南薩少年自然の家 かせだドーム かせだ物流センターるぴなす 道の駅きんぽう木花館 温泉交流の郷いなほ館 大浦ふるさとくじら館 くじらの眠る丘 鑑真記念館 坊津歴史資料センター輝津館 南さつま交流ｾﾝﾀｰにいななまる マルス津貫蒸溜所 焼酎の郷宮原ふれあい館（たかやのやかた） 観光物産交流施設きやったもんせ南さつま タカエビモニュメント	南さつま海道鑑真の道歩き（2月） 杜氏の里まつり（2月） 吹上浜砂の祭典（5月） 唐カラ船祭り（5月） ツール・ド・南さつま（5月） マリンランド笠沙フェスタ（5月） 竹田神社夏祭り・士踊（7月） 坊津・岬まつり（8月） ヨッカブイ（8月） 金峰ふるさと夏祭り（8月） 南さつまフェスタふるさと総踊り（9月） 大浦まつり（10月） 健幸・福祉ふれ愛フェスタ（11月） 津貫蒸溜所祭り（11月）
南九州市	番所鼻自然公園 タツノオトシゴハウス イソヒヨコーヒー 射盾兵主神社（釜蓋神社） 大野岳公園 知覧特攻平和会館 知覧武家屋敷庭園 ミュージアム知覧 岩屋公園 道の駅川辺やすらぎの郷 アドベンチャーパーク森のかわなべ	川辺二日市（2月） 新茶・大野岳マラソンinえい（4月） 知覧ねぷた祭（7月） 豊玉姫神社の水車からくり（7月） 川辺祇園祭（7月） えいのゴッソイまつり（11月） 小京都ふるさと祭（10月） かわなべ磨崖仏まつり（11月） 南九州市あかりの道標ちらん灯彩路（11月）

※例年ベースで記載

６　保健医療福祉

(1)　人口動態（2023年1月1日～12月31日）

（単位：人）

	出生数	死亡数	自然増加	死因別					
				悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰	その他
枕崎市	61	395	▲334	101	51	33	31	33	146
指宿市	188	659	▲471	120	106	56	56	61	260
南さつま市	156	730	▲574	133	125	61	50	92	269
南九州市	130	670	▲540	127	117	65	53	70	238
管内計	535	2,454	▲1,919	481	399	215	190	256	913
前年度計	547	2,400	▲1,853	514	371	149	236	252	878
増減	▲12	54	▲66	▲33	28	66	▲46	4	35

出典：県保健医療福祉課「2023年鹿児島県人口動態調査統計表」

(2)　医師数・医療提供施設等の状況

（単位：箇所，人）

	管内の医療施設で診療に従事している医師		薬剤師		医療施設等										診療に従事している医師１人当たり人口	
					病院		診療所		薬局	助産所	あマッサージ指圧んま	はり	きゅう	柔道整復		
	医師	歯科	診療	薬局	数	病床	数	病床							医師	歯科
枕崎市	47	10	14	18	8	631	20 (7)	0 (0)	9	0	17	24	24	8	380	1,788
指宿市	100	26	21	42	9	1,170	55 (20)	178 (0)	21	1	44	49	47	19	358	1,379
南さつま市	80	17	14	51	7	881	47 (12)	154 (0)	23	0	33	38	37	10	378	1,783
南九州市	58	19	7	32	5	696	45 (16)	40 (0)	15	2	31	46	46	12	512	1,564
管内計	285	72	56	143	29	3,378	167 (55)	372 (0)	68	3	125	157	154	49	―	―

出典：厚生労働省「2024年医師・歯科医師・薬剤師統計」，南薩地域振興局衛生・環境課，地域保健福祉課調べ

※1　診療所の（　）書きは歯科診療所数で内書き

※2　医療施設等は2025年3月末現在

※3　医師・歯科医師・薬剤師は2024年12月31日現在の医師・歯科医師・薬剤師調査による。

※4　診療に従事している医師１人当り人口は，2024年10月1日現在の人口による。

(3)　生活習慣病死亡率［人口10万対］

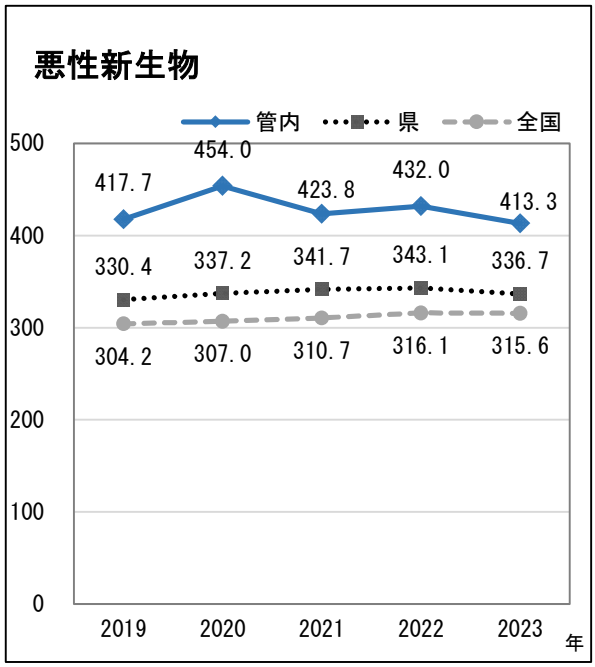
▪　管内の生活習慣病（主要４疾病）の死亡率は，2023年をみると，県・全国より高く，悪性新生物は県平均の約1.23倍，全国平均の約1.31倍，脳血管疾患は県平均の約1.42倍，全国平均の約1.89倍，心疾患は県平均の約1.53倍，全国平均の約1.80倍，高血圧性疾患は県平均の約1.13倍，全国平均の約1.20倍となっている。

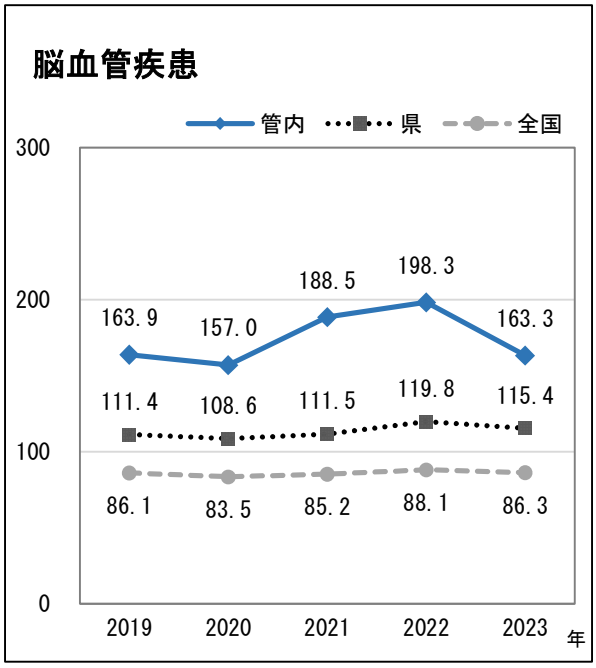
（各年1月1日～12月31日）

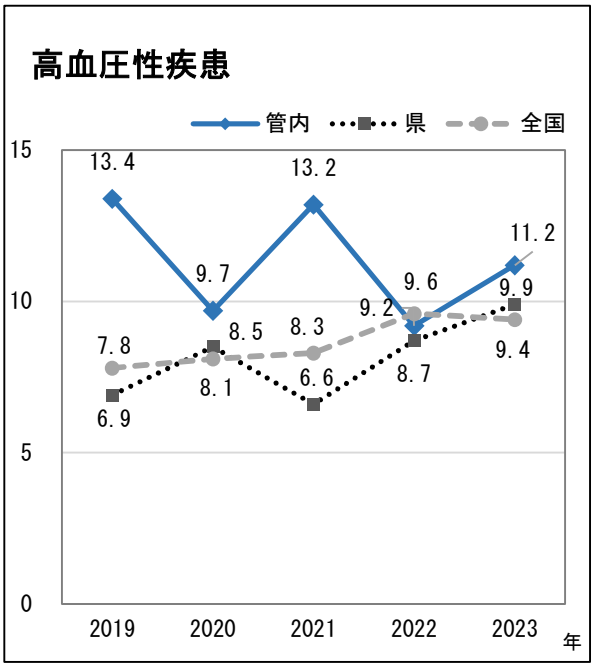
年	悪性新生物			脳血管疾患			心疾患			高血圧性疾患		
	管内	県	全国	管内	県	全国	管内	県	全国	管内	県	全国
2019	417.7	330.4	304.2	163.9	111.4	86.1	277.4	207.9	167.9	13.4	6.9	7.8
2020	454.0	337.2	307.0	157.0	108.6	83.5	281.6	207.4	166.7	9.7	8.5	8.1
2021	423.8	341.7	310.7	188.5	111.5	85.2	264.2	210.2	174.8	13.2	6.6	8.3
2022	432.0	343.1	316.1	198.3	119.8	88.1	311.8	226.3	190.8	9.2	8.7	9.6
2023	413.3	336.7	315.6	163.3	115.4	86.3	342.9	223.7	190.7	11.2	9.9	9.4

出典：県保健医療福祉課「鹿児島県人口動態調査統計表」，厚生労働省「人口動態統計（確定数）」

○　管内・県・全国の死亡率の年次推移（人口10万対）







(4) 福祉施設の設置状況（2025年３月末）

（単位：箇所，人）

施設の種類		施設数	入所(通所)定員
生活保護法			
	救護施設		
	更生施設		
	医療保護施設		
	授産施設		
	宿所提供施設		
	小計	0	0
児童福祉法			
	助産施設		
	乳児院		
	母子生活支援施設		
	保育所(認定こども園除く)	33	1,614
	児童厚生施設	4	
	児童養護施設	1	46
	障害児入所施設	1	10
	児童発達支援センター	4	60
	児童心理治療施設		
	児童自立支援施設		
	児童家庭支援センター	1	
	里親支援センター	1	
	小計	45	1,730
就学前の子どもに関する教育，保育等の総合的な提供の推進に関する法律			
	認定こども園	25	1,774
	小計	25	1,774
老人福祉法			
	老人デイサービスセンター	62	
	老人短期入所施設	22	
	養護老人ホーム	4	290
	特別養護老人ホーム	27	1,322
	軽費老人ホーム	3	100
	老人福祉センター	9	
	老人介護支援センター	5	
	小計	132	1,712
障害者総合支援法			
	障害者支援施設	10	601
	小計	10	601
介護保険法			
	介護老人福祉施設	(27)	(1,322)
	介護老人保健施設	11	848
	介護医療院	4	176
	小計	15	1,024
合計		227	6,841

出典：南薩地域振興局地域保健福祉課調べ

※ （ ）書きは，特別養護老人ホームを重複するため，内書き

(5) 温泉利用状況（源泉数，温泉利用の公衆浴場施設数）（2024年３月末）

（単位：本，箇所）

	温泉地数	源泉総数	温泉利用の公衆浴場施設	(参考)温泉利用の旅館・ホテル数
枕崎市	1	5	2	
指宿市	9	537	36	40
南さつま市	3	7	4	1
南九州市	3	19	12	1
管内計	16	568	54	42
県計	160	2,063		
割合	10.0%	27.5%		

出典：南薩地域振興局衛生・環境課調べ

【参考】県立薩南病院の概要

1　機能概要

(1)　診療科

内科，消化器内科，循環器内科，人工透析内科，外科，放射線科，小児科，産婦人科，麻酔科，特殊外来（糖尿病外来，肝臓病外来，ペースメーカー外来，緩和ケア外来，緩和ケア外来（精神腫瘍医），乳腺外来，呼吸器外科外来）

※　R5年5月移転に伴い，産婦人科と麻酔科を新設，小児科を再開。

(2)　病床数

160床（一般病床：146床，感染症病床：4床，結核病床:10床）

(3)　各種指定状況

地域医療支援病院，災害拠点病院，結核予防指定医療機関，感染症指定医療機関，原子爆弾被災者医療指定病院，救急指定医療機関，更生医療指定病院，労災保険指定病院，生活保護指定病院，へき地医療拠点病院，エイズ治療協力病院，地域がん診療病院

(4)　学会認定状況

臨床研修指定病院，日本がん治療認定医機構認定研修施設，日本循環器学会認定専門医研修施設，日本外科学会外科専門医制度修練施設，日本胸部外科学会認定医認定制度指定関連施設，日本消化器外科学会専門医修練施設

(5)　主な医療機器

磁気共鳴画像装置（MRI），コンピュータ断層撮影装置(CT)，デジタルガンマカメラ，心・血管撮影装置(アンギオ)，放射線治療装置(リニアック)，X線シュミレータ，三次元放射線治療計画ワークステーション，乳房エックス線撮影装置

2　施設概要

(1)　所在地

南さつま市加世田村原4丁目11番

(2)　敷地面積

19,554㎡

(3)　建物面積

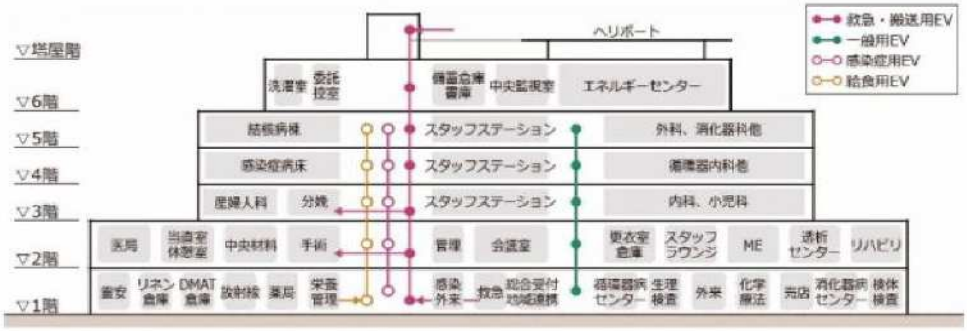
15,178㎡

(4)　階数

地上６階＋塔屋１階

(5)　その他

屋上ヘリポート，院内保育所，駐車場，駐輪場



7　管内の公共土木施設の概要

(1)　道路

・　国・県道のうち，一般国道は，５路線186.5km(国土交通省管理：２路線41.8km，県管理：４路線144.8km)，県道は，主要地方道が10路線145.2km，一般県道が27路線194.2kmの計37路線339.5kmで，国県道合わせて42路線526.0km(うち県管理：41路線484.2km)である。

・　県管理道路の整備状況は，2024年4月1日現在で改良率92.1%，舗装率100.0%となっている。

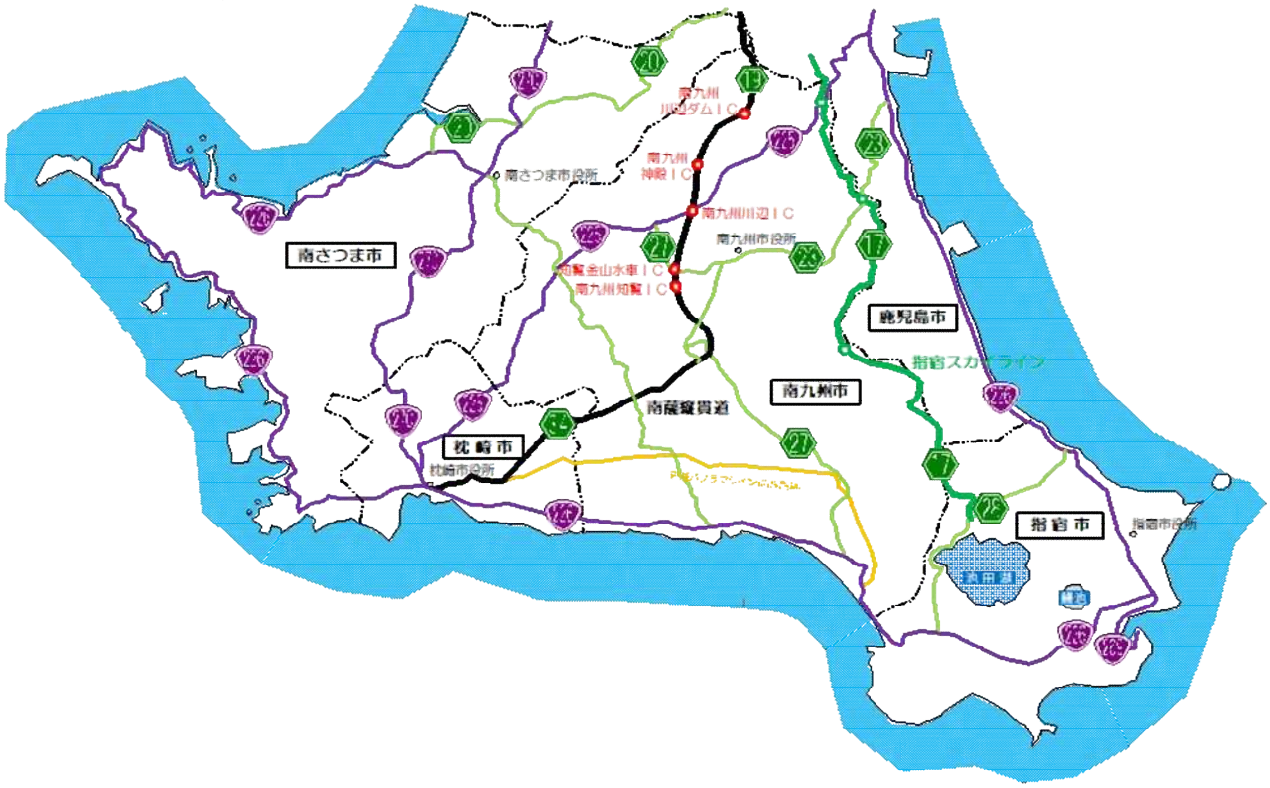
【図１】管内の道路整備状況（2024年4月1日現在）

道路の種類		路線数	延長	改良済			舗装済		
				延長	改良率	県全体改良率	延長	舗装率	県全体舗装率
			(km)	(km)	(%)	(%)	(km)	(%)	(%)
一般国道	国管理	2	41.8	41.8	100.0	100.0	41.8	100.0	100.0
	県管理	4	144.8	140.0	96.7	98.0	144.8	100.0	100.0
	国道計	5	186.5	181.7	97.4	98.7	186.5	100.0	100.0
県道	主要地方道	10	145.2	140.6	96.8	91.9	145.2	100.0	100.0
	一般県道	27	194.2	165.3	85.1	76.0	194.2	100.0	100.0
	県道計	37	339.5	306.0	90.1	83.1	339.5	100.0	100.0
国・県道計		42	526.0	487.7	92.7	87.2	526.0	100.0	100.0
うち県管理		41	484.2	445.9	92.1	86.0	484.2	100.0	100.0

※1　「国道計」，「県道計」，「国・県道計」及び「うち県管理」は，端数処理の関係で一致しない。
※2　管内の国道5路線のうち，国管理は国道225号・国道226号の2路線，県管理は国道226号，国道269号，国道270号，国道448号の4路線と，国道226号は，国管理区間と県管理区間があり，重複している。

出典：県道路維持課「2024年度道路現況調書」

南薩地域振興局　管内概要地図



(2) 河川

・ 県で管理する河川は，二級河川万之瀬川等20水系54河川あり，流路延長は277.1kmで，2025年４月１日現在の改修率は42.9%（県全体46.8%）である。

【図２】管内の県管理河川の整備状況（延長10km超）（2026年4月1日現在）

河川種別	水系河川	河川数	管理延長 (km)	要改修 (km)	改修済 (km)	改修率 (%)	未改修 (km)	改修不要 (km)
二級	万之瀬川	23	150.90	122.30	51.00	41.7	71.30	28.60
	大浦川	6	16.60	15.00	8.30	55.3	6.70	1.60
	花渡川	3	16.90	16.10	10.20	63.4	5.90	0.80
	加治佐川	2	13.70	12.70	1.60	12.6	11.10	1.00
	馬渡川	2	13.60	10.20	2.40	23.5	7.80	3.40
	新川	3	18.50	18.00	4.80	26.7	13.20	0.50

※1 改修,未改修及び改修不用延長は，両岸の平均。

※2 改修済とは，60mm/h相当の降雨で，はん濫しないよう河道が確保されているもの。

出典：南薩地域振興局河川港湾課調べ

(3) 土石流，急傾斜地及び地すべり

・土砂災害警戒区域が2,129箇所あり，そのうち土砂災害特別警戒区域が1,819箇所ある。

【図３】管内の土砂災害警戒区域の指定状況（2025年9月26日現在）

	警戒区域				うち特別警戒区域
	急傾斜地の崩壊	土石流	地すべり	計	
枕崎市	233	18	1	252	233
指宿市	268	111	6	385	349
南さつま市	691	203	14	908	720
南九州市	435	149	0	584	517
計	1,627	481	21	2,129	1,819

出典：南薩地域振興局河川港湾課調べ

※「計」は，市町村をまたぐ箇所を含む。

(4) 海岸

① 海岸保全区域

・河川局所管	…塩屋海岸等	13地区	延長	20.7	km
・港湾局所管	…宮ヶ浜港海岸等	3地区	延長	7.2	km
・水産庁所管	…枕崎漁港海岸等	11地区	延長	28.3	km
・農村振興局所管	…大浦海岸等	5地区	延長	13.0	km
		計 32地区	延長	69.2	km

(5) 港湾・漁港

① 県管理港湾（４港）

・ 地方港湾　　指宿港，宮ヶ浜港，魚見港，新川港

② 県管理漁港（１２港）

・ 特定第３種漁港 … 枕崎漁港
・ 第３種漁港　　… 山川漁港
・ 第４種漁港　　… 坊泊漁港，宇治漁港
・ 第２種漁港　　… 片浦漁港，野間池漁港，小湊漁港，久志漁港，秋目漁港，頴娃漁港，今和泉漁港，川尻漁港

※ 特定第３種漁港 … 第３種漁港のうち，水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもので，全国に１３港（八戸，気仙沼，石巻，塩釜，銚子，三崎，焼津，境，浜田，下関，博多，長崎，**枕崎**）ある。

(6) 県営住宅

管内県営住宅一覧（2025年4月1日現在）

所在地	団地名	戸数
指宿市	弥次ヶ湯団地	40
（5 団地）	西方団地	32
	宮ヶ浜団地	98
	大園原団地	72
	新田ふれあい団地	30
	小計	272
枕崎市	枕崎団地	42
（1 団地）	小計	42
南さつま市	武田団地	28
（8 団地）	唐仁原団地	71
	万世団地	37
	内山田団地	68
	小松原団地	46
	ハーモニー団地	75
	ウッドタウン笠沙団地	18
	ガーデンヒルズ金峰団地	19
	小計	362
南九州市	ウッドタウン知覧団地	45
（3 団地）	打越団地	48
	ウッドタウンえい団地	14
	小計	107
（17 団地）	合計	783

8　教育・文化

(1)　教育

①　小中学校の状況（2025年度）

	小学校数	児童数	中学校数	生徒数
枕崎市	4	731	4	436
指宿市	9　(　2)	1,715	5	936
南さつま市	7　(　5)	1,128	3	574
南九州市	15　(　7)	1,382	3	741
管内計	35　(　14)	4,956	15	2,687

※　(　) は複式学級が設けられている学校数

出典：鹿児島県教育委員会ＨＰ「公立学校一覧表（学級数・児童生徒数等）」

②　義務教育学校の状況（2025年度）

	学校数	児童・生徒数
南さつま市	2	478

出典：鹿児島県教育委員会ＨＰ「公立学校一覧表（学級数・児童生徒数等）」

③　高等学校の状況（2025年度）

高等学校名	公私	所在地	学科等
指宿	県立	指宿市	普通
山川	県立	指宿市	園芸工学・農業経済，生活情報
頴娃	県立	南九州市	普通，機械電気
枕崎	県立	枕崎市	総合
鹿児島水産	県立	枕崎市	海洋,情報通信,食品工学 ※専攻科
加世田	県立	南さつま市	普通
加世田常潤	県立	南さつま市	食農プロデュース，生活福祉
川辺	県立	南九州市	普通
薩南工業	県立	南九州市	機械，建築，情報技術，生活科学
指宿商業	市立	指宿市	商業マネジメント，会計マネジメント，情報マネジメント
鳳凰	私立	南さつま市	普通，文理，看護(※専攻)

出典：南薩地域振興局総務企画課調べ

④　特別支援学校（2025年度）

学校名	公私	所在地
指宿特別支援	県立	指宿市
南薩特別支援	県立	南さつま市

出典：鹿児島県教育委員会ＨＰ「公立学校一覧表（学級数・児童生徒数等）」

(2)　文化

①　伝統的工芸品

名称	産地	指定
川辺仏壇	南九州市川辺町	国
加世田鎌・加世田包丁	南さつま市加世田	県
薩摩切子	南さつま市金峰町	県
薩摩つげ櫛	指宿市	県
薩摩深水刃物	枕崎市	県
坊津ガラガラ船・唐カラ船	南さつま市坊津町	県

②　管内の指定文化財の状況

次ページ一覧表のとおり

南薩地区の国及び県指定文化財一覧表

2025年４月１日現在

市名	指定区分	名称	所在地	指定年月日
枕崎市(1)	国指定無形民俗文化財	南薩摩の十五夜行事	枕崎市(枕崎市十五夜行事保存会)	S56. 1. 21
指宿市(20)	国指定有形文化財(工芸品)	松梅蒔絵櫛笥附属品並目録共 一合	開聞町十町1366 枚聞神社	S 2. 4. 25
	国指定史跡	指宿橋牟礼川遺跡	十二町(下里)	T13. 12. 9
	〃	鹿児島島津家墓所	指宿市岩本字麓	R 2. 3. 10
	国指定特別天然記念物	鹿児島県のソテツ自生地	山川町 他	S27. 3. 29
	国登録有形文化財	宮ヶ浜港防波堤(捍海堤)	西方宮ヶ浜地先	H20. 4. 18
	〃	丸十金物百貨店店舗 (宮ヶ浜の商家群)	西方4826	H20. 10. 23
	〃	丸十金物百貨店蔵 (〃)	西方4826	H20. 10. 23
	〃	中俣家住宅主屋 (〃)	西方字宮ヶ浜中4674	H20. 10. 23
	〃	坂本家住宅主屋 (〃)	西方4681	H20. 10. 23
	〃	滝川菓子店店舗兼主屋 (〃)	西方字仮屋ノ下4682	H20. 10. 23
	県指定有形文化財(建造物)	枚聞神社本殿	開聞町十町1366	H 2. 3. 23
	〃 (彫刻)	指宿光明禅寺の木造阿弥陀如来立像	十町2768	H15. 4. 22
	〃 (彫刻)	久保観音堂の木造菩薩立像	指宿市西方8161－1	H30. 4. 20
	〃 (工芸品)	能面	東方733 (揖宿神社)	S34. 6. 10
	〃 (考古資料)	敷領遺跡出土品7点	十二町2290(時遊館 COCCOはしむれ内)	R 5. 5. 2
	県指定天然記念物・史跡	山川薬園跡及びリュウガン	山川町新生町35	S29. 3. 15
	県指定天然記念物	柱状玄武岩	開聞町脇浦花瀬崎	S29. 5. 24
	〃	揖宿神社の社叢(しゃそう)	東方733 (揖宿神社境内)	H15. 4. 22
	〃	伏目海岸の池田火砕流堆積物と噴気帯	山川福元3339-2の一部及び海岸(長さ210m)	H26. 4. 22
	〃	知林ヶ島のトンボロ	指宿市	R 2. 4. 28
南さつま市(47)	国指定有形文化財(絵画)	絹本著色八相涅槃図	坊津町坊9424-1「輝津館」	S47. 5. 30
	国指定史跡	栫ノ原遺跡	加世田村原字栫ノ原	H 9. 3. 11
	〃	阿多貝塚	南さつま市金峰町宮崎	R 2. 3. 24
	国指定特別天然記念物	鹿児島県のソテツ自生地	坊津町秋目木船山 他	S27. 3. 29
	国指定天然記念物	ヘゴ自生北限地帯	笠沙町赤生木	T15. 10. 27
	〃	万之瀬川河口域のハマボウ群落及び干潟生物群集	加世田益山字川原田，上川原田，青田，干拓地	H19. 2. 6
	〃	カラスバト	宇治群島，草垣群島(地域を定めず指定)	S46. 5. 19
	国指定名勝	坊津	坊津町大字坊字御崎	H13. 1. 29
	国指定無形民俗文化財	南薩摩の十五夜行事	坊津町	S56. 1. 21
	国選定伝統的建造物群保存地区	南さつま市加世田麓伝統的建造物群保存地区	南さつま市	R 1. 12. 23
	国選択無形民俗文化財	薩摩の水からくり (加世田の水カラクリ)	加世田武田17932	S59. 12. 20
	国選択無形民俗文化財	ヨッカブイ	金峰町高橋	H 9. 12. 4
	〃	大浦町の疱瘡踊	大浦町宮園及び永田	S53. 1. 31
	国登録有形文化財	丁子屋石蔵 一棟	加世田唐仁原	H19. 7. 31
	〃	大崎公民館(旧大崎報公議會館)本館	加世田唐仁原6078-2 他	H20. 4. 18
	〃	大崎公民館(旧大崎報公議會館)門及び石塀	〃	H20. 4. 18
	〃	旧鯵坂医院	加世田武田18278	H21. 8. 7
	〃	鮫島家住宅主屋や石塀など7件	加世田武田字下上鴻巣18275	H23. 7. 25
	〃	鮫島博家住宅主屋や蔵など4件	加世田武田17824	H24. 8. 13
	〃	旧鯵坂家住宅主屋や蔵など4件	加世田武田字下鴻巣17830 1	H25. 6. 21
	〃	岩元家住宅主屋	坊津町秋目794	R 3. 2. 26
	県指定有形文化財(考古資料)	経筒	加世田武田17932 竹田神社	S42. 3. 31
	〃 (絵画)	杉戸	坊津町坊9424-1「輝津館」	S29. 5. 24
	〃 (工芸品)	扁額	〃	S29. 5. 24
	〃 (古文書)	坊津一乗院聖教類等	〃	H 2. 3. 23
	〃 (彫刻)	廣泉寺の木造阿弥陀如来立像附紙本納入品	坊津町久志6552	R 2. 4. 28
	県指定史跡	六地蔵塔	加世田武田17924-3	S29. 5. 24
	〃	一乗院跡	坊津町坊	S29. 5. 24
	県指定天然記念物	マノセカワゴケソウ	加世田古瀬(万之瀬川)	S29. 3. 15
	〃	ミシマサワガニ	黒島，口永良部島，宇治群島	H25. 4. 23
	県指定有形民俗文化財	加世田の水車カラクリ	加世田武田17932 竹田神社	S61. 3. 24
	〃	金峰町宮崎の田の神	金峰町宮崎山の上50	S41. 3. 11
	県指定無形民俗文化財	士踊(稚児踊・二才踊)	加世田武田17932(竹田神社士踊保存会)	S36. 12. 20
	〃	津貫豊祭太鼓踊	加世田津貫(津貫豊祭太鼓踊保存会)	S39. 6. 5
	〃	大浦町の疱瘡踊	大浦町(疱瘡踊保存会)	S37. 10. 24
南九州市(34)	国指定史跡	知覧城跡	知覧町永里 他	H 5. 5. 7
	国指定名勝	知覧麓庭園	知覧町郡	S56. 2. 23
	国指定無形民俗文化財	南薩摩の十五夜行事	知覧町(知覧町十五夜行事保存会)	S56. 1. 21
	国選定重要伝統的建造物群保存地区	知覧町知覧伝統的建造物群保存地区	知覧町郡	S56. 11. 30
	国選択無形民俗文化財	薩摩の水からくり (知覧の水カラクリ)	知覧町郡16510(知覧水車カラクリ保存会)	S59. 12. 20
	国登録有形文化財	旧陸軍知覧飛行場防火水槽 一基	知覧町郡17932	H19. 7. 31
	〃	旧陸軍知覧飛行場弾薬庫 一棟	知覧町郡17877	H19. 7. 31
	〃	旧陸軍知覧飛行場着陸訓練施設鎮碇 一棟	知覧町郡17885-3	H19. 7. 31
	〃	横峯家住宅主屋	知覧町永里1226	H19. 7. 31
	〃	旧勝目郵便局	川辺町中山田1134-3	H19. 5. 15
	〃	安田家住宅主屋一棟土蔵一土蔵二住宅門及び石垣(4)	知覧町南別府字下村25820	H19. 12. 5
	〃	松下家住宅主屋土蔵石垣(3)	知覧町南別府字東塩屋27024	H19. 12. 5
	〃	吉田家住宅土蔵	知覧町南別府字滝ノ上23295	H19. 12. 5
	県指定有形文化財(建造物)	森重堅氏住宅オモテ 附 蔵	知覧町郡6354	H20. 4. 22
	〃	佐多直忠氏住宅 附 腕木門 目隠し(屏風岩)	知覧町郡6109	H20. 4. 22
	県指定有形文化財(絵画)	門之浦伝来絵巻	知覧町郡17880(ミュージアム知覧)	R 3. 4. 23
	県指定史跡	厚地松山製鉄遺跡	知覧町大字厚地字松場，字河口及び字當尾平	H14. 4. 23
	〃	清水磨崖仏	川辺町清水薬師	S34. 6. 10
	〃	頴娃城跡	頴娃町郡	H17. 4. 19
	〃	金山水車(錫製錬所)跡	知覧町郡字麓	H29. 4. 21
	県指定天然記念物	天然橋	川辺町上山田柿房虚空蔵岳	S29. 5. 24
	〃	権現洞穴	川辺町上山田君野	S29. 5. 24
	〃	川辺の大クス	川辺町宮4773	S31. 9. 27
	〃	トキワカワゴケソウ(カワゴケソウ科)	頴娃町平瀬(馬渡川)	S29. 3. 15
	〃 (植物)	南九州市川辺町中山田のオキチモズク	川辺町中山田麓川用水路(上之口・上之川・堂・下之口)	H30. 4. 20
	県指定名勝及び天然記念物	番所鼻の溶結凝灰岩の環状プール群	南九州市頴娃町番所鼻	H31. 4. 19
	県指定有形民俗文化財	知覧の水車カラクリ	知覧町郡16510(知覧水車カラクリ保存会)	S58. 4. 13
	県指定無形民俗文化財	知覧の十五夜そらよい	知覧町中部地区(中福良，追，瀬戸山，瀬世，打山，浮辺，加治屋)	S55. 3. 31
	〃	川辺町上山田太鼓踊	川辺町上山田(上山田太鼓踊保存会)	S36. 12. 20

出典：南薩教育事務所「令和7年度南薩地区教育行政要覧」

９　市町村勢

(1)　財政状況（2024年度）

（単位：百万円，％）

区分 / 市名	歳入総額	歳出総額	積立金現在高	地方債現在高	市町村別主要指数			
					財政力指数	実質公債費比率	経常収支比率	将来負担比率
枕崎市	15,764	14,972	8,036	13,032	0.39	7.7	89.4	―
指宿市	28,204	27,176	7,823	30,355	0.36	9.3	91.7	16.3
南さつま市	33,776	32,246	28,229	31,120	0.29	7.1	88.9	―
南九州市	29,969	28,844	11,914	20,930	0.36	6.6	92.2	―
管内市平均					0.35	7.7	90.6	―
県平均					0.29	6.9	90.5	―

※　指宿市以外の各市の将来負担比率が算定されていないのは，一般会計が将来的に負担すべき実質的な負債（将来負担額）に対し，負債の償還に充てることのできる基金等が多いため，算定されず数値なしとなったもの。

出典：「将来負担比率」は，県市町村課「令和６年度決算に基づく健全化判断比率等の概要」
「将来負担比率」以外は，県市町村課「令和６年度市町村普通会計決算の概要」

(2)　合併状況

現在(合併後)	合併前	合併年月日
指宿市	指宿市	2006年1月1日
	山川町	
	開聞町	
南さつま市	加世田市	2005年11月7日
	大浦町	
	笠沙町	
	坊津町	
	金峰町	
南九州市	知覧町	2007年12月1日
	川辺町	
	頴娃町	
枕崎市		―